

**2014 年度前期**  
**「授業改善のための学生アンケート」 結果報告書**

白百合女子大学

## はじめに

FD推進委員長 川中 信  
(2014年度)

本学では2010年度から「授業改善のための学生アンケート」を全学で実施してきました。2010年度の結果につきましては Web 版と冊子版で全体的な傾向を公表いたしましたが、今後は半期に一度 Web 公表を行うことにいたしました。

新しい試みとして、アンケート結果をうけて授業担当教員が学生のみなさんへコメントを戻したい場合にはそれを公表することになりました。アンケートは授業期間終盤に行われますのでコメントを戻すのはその授業が終わった後にはなりますが、Web にてお伝えしたいと思います。

学生・教職員のみなさまの多様なご意見を共有し、みなさんとよりよい大学を作っていくことを願って、引き続きアンケート結果の活用を図って参りたいと思います。

最後になりましたが、アンケートにご協力いただきましたすべての学生・教職員のみなさまにあらためてお礼を申し上げます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

### 追記

FD とは大学の授業改善のために始まった全国的な取り組みの一つですが、本学では教職員で構成される FD 推進委員会が中心となり、教員個人または個別の授業についてだけではなく授業を取りまくさまざまな課題をみつけ改善していくために組織的な取り組みを行っています。「授業改善のための学生アンケート」もその一つです。

# 目 次

## はじめに

### 1. 2014年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	1
④ 設定項目	2
⑤ アンケート用紙	3
⑥ 実施科目数	3

### 2. 2014年度前期「授業改善のための学生アンケート」 集計結果

① 学部	4
② 大学院	9

### 3. 2014年度前期「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応えて

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ	14
② 大学院科目 授業担当教員からのメッセージ	20
③ FD推進委員会からのメッセージ	21

## 1. 2014 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

### ① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

### ② 実施概要

実施期間：2014年7月17日（木）～8月6日（水）

実施対象：原則としてすべての前期科目

※ただし、履修人数が5名以下の授業や、授業形態から考えて調査実施が困難な授業などについては、担当教員の申出により、調査対象科目から除外する。

調査方式：無記名式マークシート、自由記述欄あり（p.3 参照）

※学部・大学院統一フォーム

調査所要時間：約 15 分

### ③ 実施方法

- 1) 授業開始前に、授業担当教員は教務課でアンケート用紙の入った封筒を受け取る。
- 2) 授業終了の15分前を目安に、履修学生にアンケート用紙を配布する。
- 3) 任意で設定できる質問項目欄を使用する場合、あらかじめ用意してきた「学生に答えてほしい質問内容」を、口頭あるいは板書で学生に周知する。
- 4) 授業担当教員は、学生に対し実施目的をよく読み、回答を行うように指示する。
- 5) 学生がアンケートを記入している間は、授業担当教員は机間巡視等、必要以上に教室内を移動することで学生の記入の妨げにならないよう注意する。

- 6) 授業担当教員は、受講人数に応じた数の回収担当学生を指名し、終了時刻と同時にアンケート用紙を回収させ、所定の袋に入れ封をするよう指示をする。
- 7) 授業終了後、授業担当教員または回収担当学生は教務課にアンケート用紙を回収した厳封済みの袋を提出する。

#### ④ 設問項目

- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたと思いますか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できましたと思いますか。
- Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
- Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- Q14 この授業の進度は適切でしたか。
- Q15 この授業の難易度は適切でしたか。
- Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。
- Q17 教室の設備は適切でしたか。
- Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
- Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
- Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。
- Q21 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q22 (教員より指示があった場合のみ記述してください)
- Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。

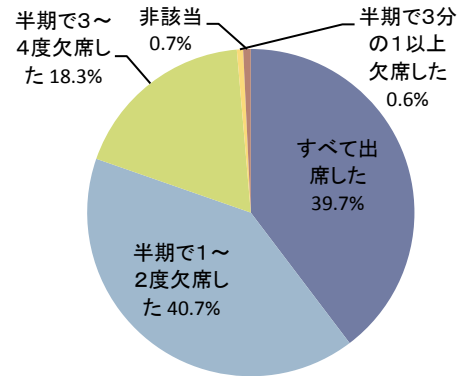


## 2. 2014年度前期「授業改善のための学生アンケート」の集計結果

### ① 学部

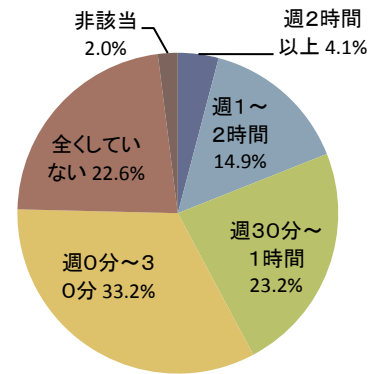
Q1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	3,830	39.7%
2	半期で1～2度欠席した	3,924	40.7%
3	半期で3～4度欠席した	1,766	18.3%
4	半期で3分の1以上欠席した	60	0.6%
5	非該当	72	0.7%
	合計	9,652	



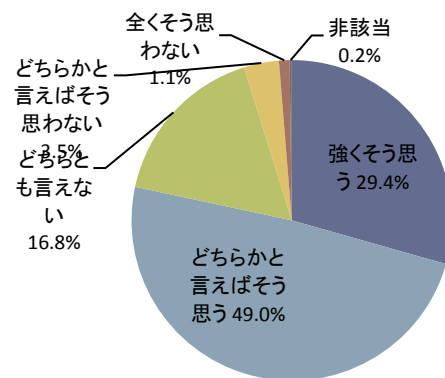
Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	396	4.1%
2	週1～2時間	1,436	14.9%
3	週30分～1時間	2,241	23.2%
4	週0分～30分	3,203	33.2%
5	全くしていない	2,183	22.6%
6	非該当	193	2.0%
	合計	9,652	



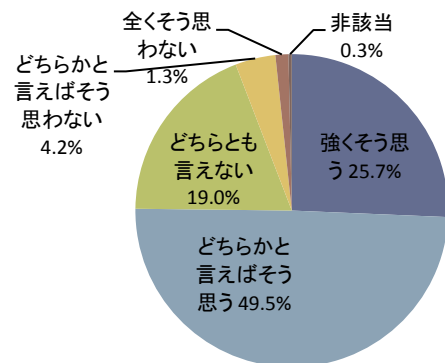
Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,837	29.4%
2	どちらかと言えばそう思う	4,726	49.0%
3	どちらとも言えない	1,624	16.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	341	3.5%
5	全くそう思わない	103	1.1%
6	非該当	21	0.2%
	合計	9,652	



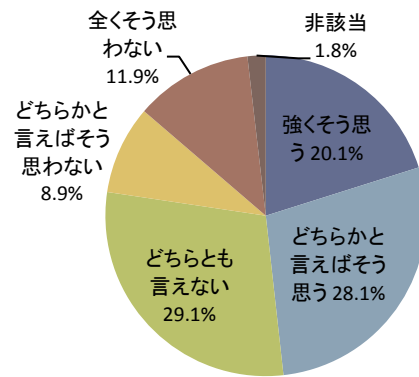
Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,477	25.7%
2	どちらかと言えばそう思う	4,780	49.5%
3	どちらとも言えない	1,831	19.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	402	4.2%
5	全くそう思わない	129	1.3%
6	非該当	33	0.3%
	合計	9,652	



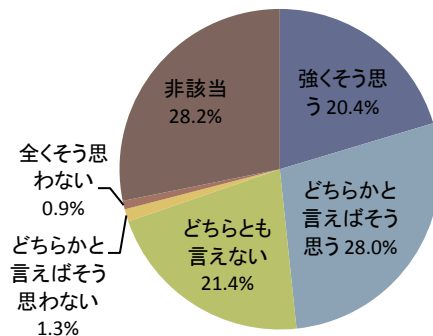
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,943	20.1%
2	どちらかと言えばそう思う	2,713	28.1%
3	どちらとも言えない	2,811	29.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	862	8.9%
5	全くそう思わない	1,146	11.9%
6	非該当	177	1.8%
	合計	9,652	



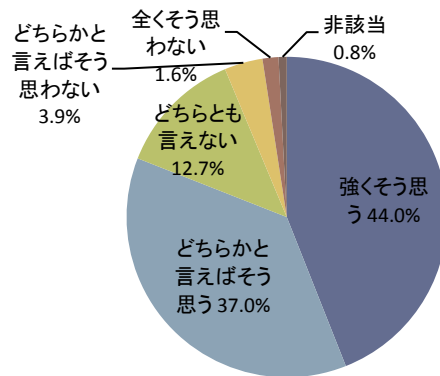
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,965	20.4%
2	どちらかと言えばそう思う	2,700	28.0%
3	どちらとも言えない	2,064	21.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	121	1.3%
5	全くそう思わない	83	0.9%
6	非該当	2,719	28.2%
	合計	9,652	



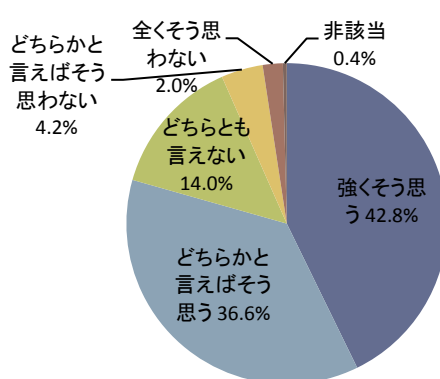
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,246	44.0%
2	どちらかと言えばそう思う	3,569	37.0%
3	どちらとも言えない	1,229	12.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	373	3.9%
5	全くそう思わない	155	1.6%
6	非該当	80	0.8%
	合計	9,652	



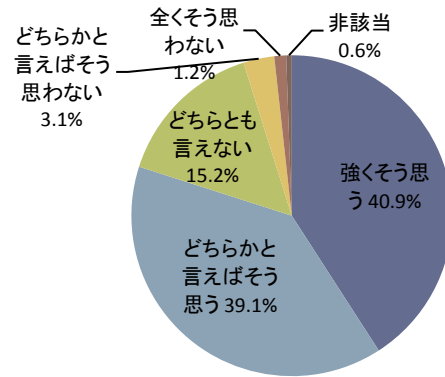
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,128	42.8%
2	どちらかと言えばそう思う	3,535	36.6%
3	どちらとも言えない	1,350	14.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	406	4.2%
5	全くそう思わない	195	2.0%
6	非該当	38	0.4%
	合計	9,652	



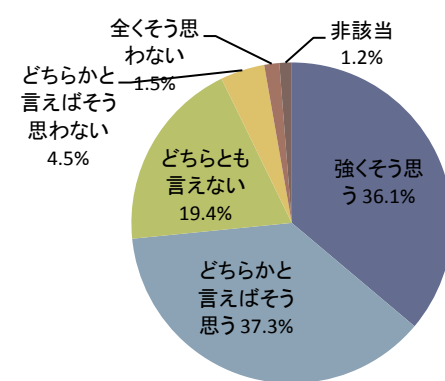
Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,946	40.9%
2	どちらかと言えばそう思う	3,770	39.1%
3	どちらとも言えない	1,466	15.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	301	3.1%
5	全くそう思わない	115	1.2%
6	非該当	54	0.6%
	合計	9,652	



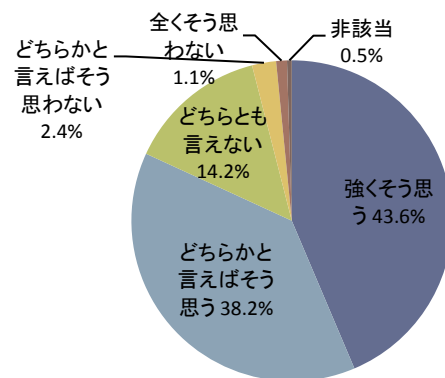
Q 9 (大学院科目対象外) 板書 (パワーポイント等も含む) はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,488	36.1%
2	どちらかと言えばそう思う	3,599	37.3%
3	どちらとも言えない	1,868	19.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	431	4.5%
5	全くそう思わない	146	1.5%
6	非該当	120	1.2%
	合計	9,652	



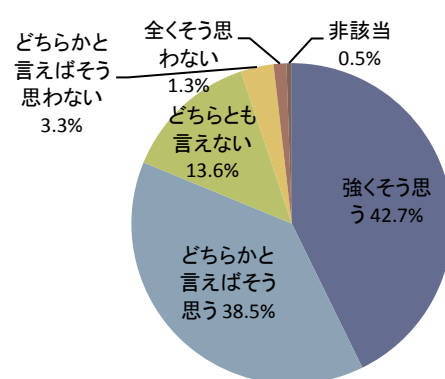
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,210	43.6%
2	どちらかと言えばそう思う	3,691	38.2%
3	どちらとも言えない	1,366	14.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	234	2.4%
5	全くそう思わない	105	1.1%
6	非該当	46	0.5%
	合計	9,652	



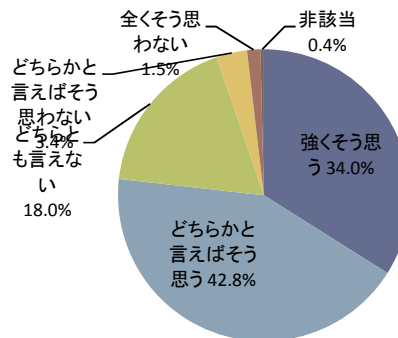
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,126	42.7%
2	どちらかと言えばそう思う	3,714	38.5%
3	どちらとも言えない	1,316	13.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	320	3.3%
5	全くそう思わない	124	1.3%
6	非該当	52	0.5%
	合計	9,652	



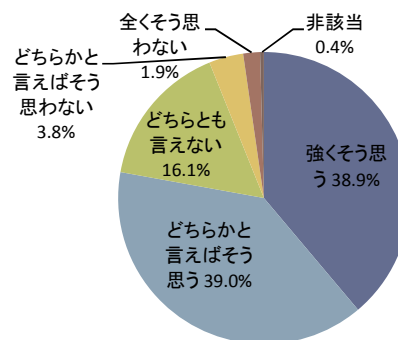
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	3,277	34.0%
2	どちらかと言えば思う	4,133	42.8%
3	どちらとも言えない	1,734	18.0%
4	どちらかと言えば思わない	328	3.4%
5	全く思わない	140	1.5%
6	非該当	40	0.4%
	合計	9,652	



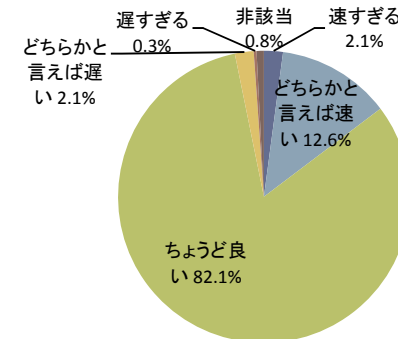
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	3,750	38.9%
2	どちらかと言えば思う	3,763	39.0%
3	どちらとも言えない	1,550	16.1%
4	どちらかと言えば思わない	366	3.8%
5	全く思わない	182	1.9%
6	非該当	41	0.4%
	合計	9,652	



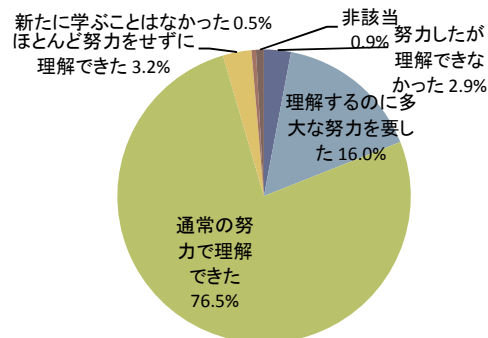
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	202	2.1%
2	どちらかと言えば速い	1,218	12.6%
3	ちょうど良い	7,922	82.1%
4	どちらかと言えば遅い	202	2.1%
5	遅すぎる	28	0.3%
6	非該当	80	0.8%
	合計	9,652	



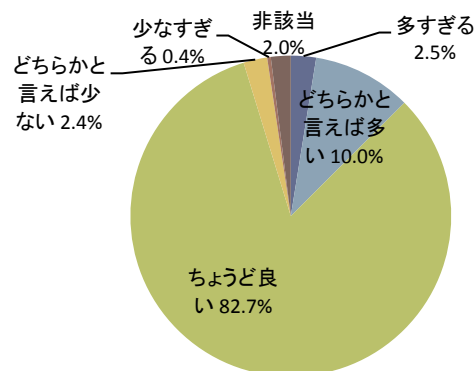
Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	284	2.9%
2	理解するのに多大な努力を要した	1,546	16.0%
3	通常の努力で理解できた	7,384	76.5%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	306	3.2%
5	新たに学ぶことはなかった	47	0.5%
6	非該当	85	0.9%
	合計	9,652	



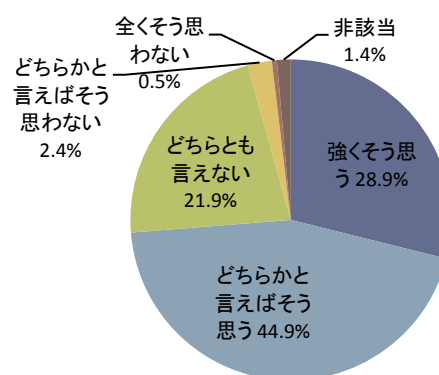
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	245	2.5%
2	どちらかと言えば多い	964	10.0%
3	ちょうど良い	7,984	82.7%
4	どちらかと言えば少ない	231	2.4%
5	少なすぎる	35	0.4%
6	非該当	193	2.0%
	合計	9,652	



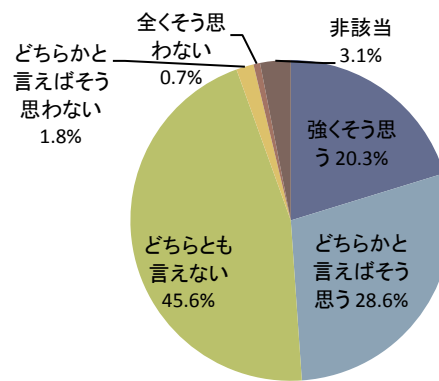
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,788	28.9%
2	どちらかと言えばそう思う	4,329	44.9%
3	どちらとも言えない	2,117	21.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	235	2.4%
5	全くそう思わない	49	0.5%
6	非該当	134	1.4%
	合計	9,652	



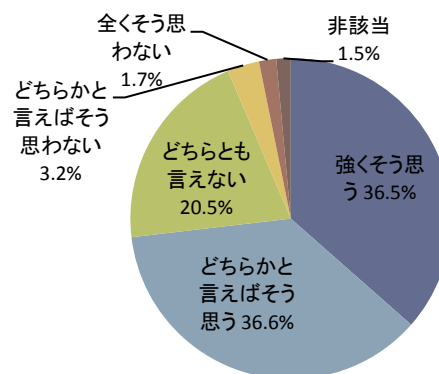
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,955	20.3%
2	どちらかと言えばそう思う	2,765	28.6%
3	どちらとも言えない	4,401	45.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	170	1.8%
5	全くそう思わない	64	0.7%
6	非該当	297	3.1%
	合計	9,652	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

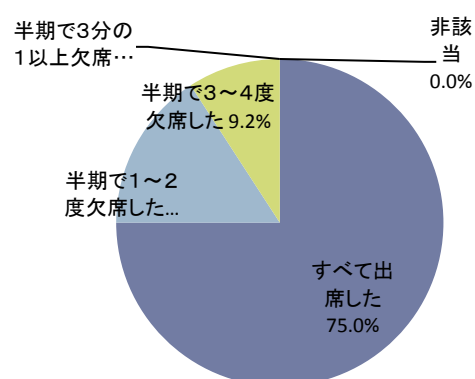
No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,523	36.5%
2	どちらかと言えばそう思う	3,537	36.6%
3	どちらとも言えない	1,974	20.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	310	3.2%
5	全くそう思わない	168	1.7%
6	非該当	140	1.5%
	合計	9,652	



② 大学院

Q1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	90	75.0%
2	半期で1～2度欠席した	19	15.8%
3	半期で3～4度欠席した	11	9.2%
4	半期で3分の1以上欠席した	0	0.0%
5	非該当	0	0.0%
	合計	120	



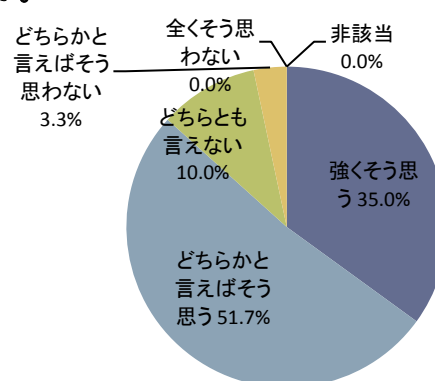
Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	0	
2	週1～2時間	0	
3	週30分～1時間	0	
4	週0分～30分	0	
5	全くしていない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

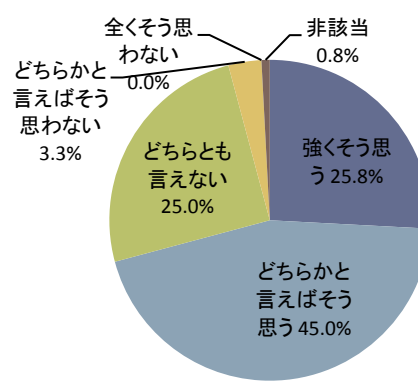
Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	42	35.0%
2	どちらかと言えばそう思う	62	51.7%
3	どちらとも言えない	12	10.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	4	3.3%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	120	



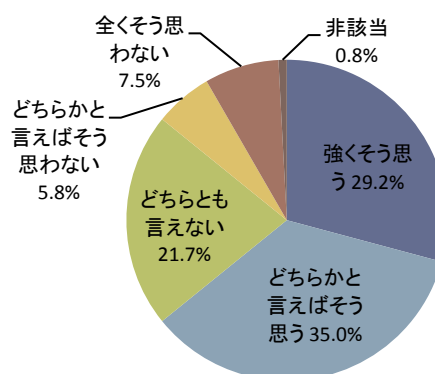
Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	31	25.8%
2	どちらかと言えばそう思う	54	45.0%
3	どちらとも言えない	30	25.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	4	3.3%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	1	0.8%
	合計	120	



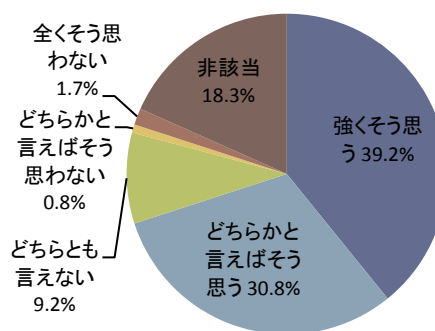
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	35	29.2%
2	どちらかと言えばそう思う	42	35.0%
3	どちらとも言えない	26	21.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	7	5.8%
5	全くそう思わない	9	7.5%
6	非該当	1	0.8%
	合計	120	



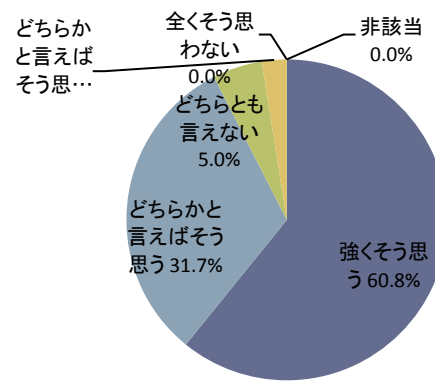
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	47	39.2%
2	どちらかと言えばそう思う	37	30.8%
3	どちらとも言えない	11	9.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	0.8%
5	全くそう思わない	2	1.7%
6	非該当	22	18.3%
	合計	120	



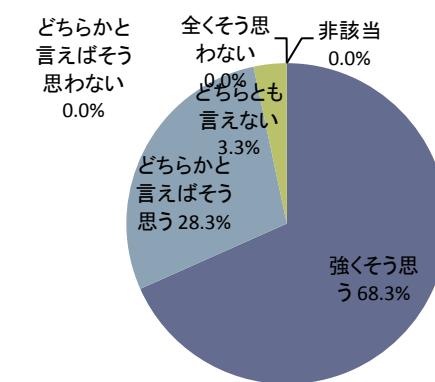
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	73	60.8%
2	どちらかと言えばそう思う	38	31.7%
3	どちらとも言えない	6	5.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	3	2.5%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	120	



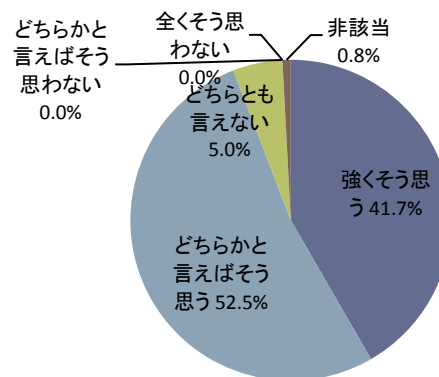
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	82	68.3%
2	どちらかと言えばそう思う	34	28.3%
3	どちらとも言えない	4	3.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	120	



Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	50	41.7%
2	どちらかと言えばそう思う	63	52.5%
3	どちらとも言えない	6	5.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	1	0.8%
	合計	120	



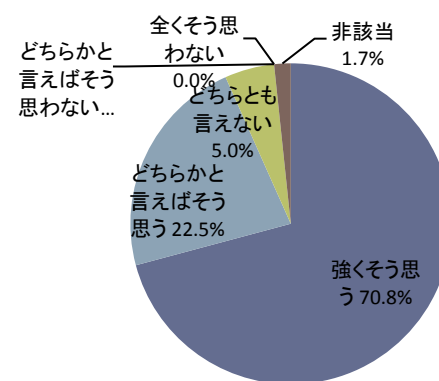
Q 9 (大学院科目対象外) 板書 (パワーポイント等も含む) はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	0	
2	どちらかと言えばそう思う	0	
3	どちらとも言えない	0	
4	どちらかと言えばそう思わない	0	
5	全くそう思わない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

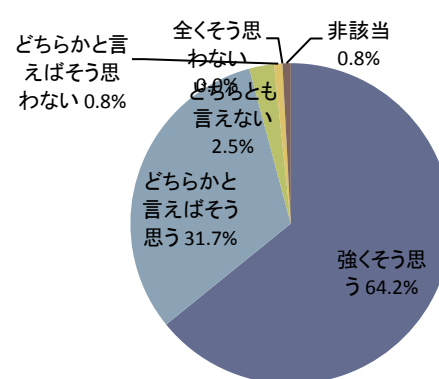
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	85	70.8%
2	どちらかと言えばそう思う	27	22.5%
3	どちらとも言えない	6	5.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	2	1.7%
	合計	120	



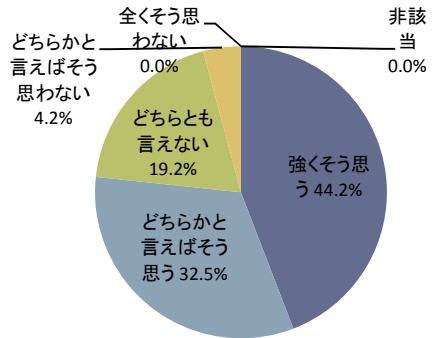
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	77	64.2%
2	どちらかと言えばそう思う	38	31.7%
3	どちらとも言えない	3	2.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	0.8%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	1	0.8%
	合計	120	



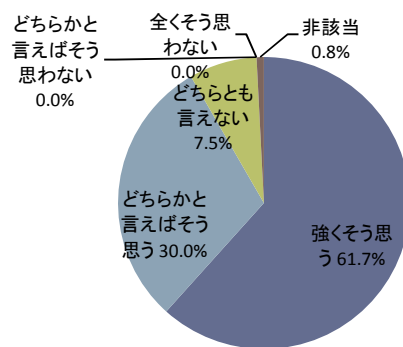
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	53	44.2%
2	どちらかと言えばそう思う	39	32.5%
3	どちらとも言えない	23	19.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	5	4.2%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	120	



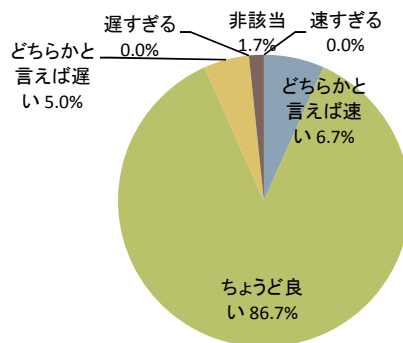
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	74	61.7%
2	どちらかと言えばそう思う	36	30.0%
3	どちらとも言えない	9	7.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	1	0.8%
	合計	120	



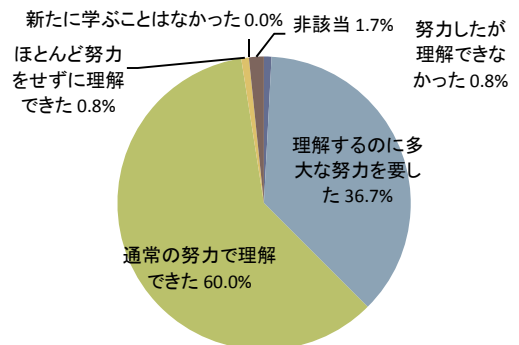
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	0	0.0%
2	どちらかと言えば速い	8	6.7%
3	ちょうど良い	104	86.7%
4	どちらかと言えば遅い	6	5.0%
5	遅すぎる	0	0.0%
6	非該当	2	1.7%
	合計	120	



Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	1	0.8%
2	理解するのに多大な努力を要した	44	36.7%
3	通常の努力で理解できた	72	60.0%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	1	0.8%
5	新たに学ぶことはなかった	0	0.0%
6	非該当	2	1.7%
	合計	120	



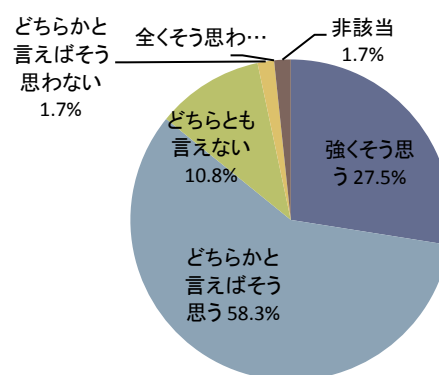
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	0	
2	どちらかと言えば多い	0	
3	ちょうど良い	0	
4	どちらかと言えば少ない	0	
5	少なすぎる	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

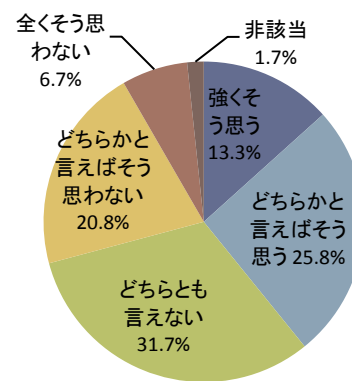
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	33	27.5%
2	どちらかと言えばそう思う	70	58.3%
3	どちらとも言えない	13	10.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	2	1.7%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	2	1.7%
	合計	120	



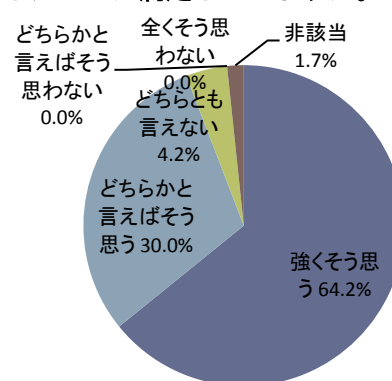
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	16	13.3%
2	どちらかと言えばそう思う	31	25.8%
3	どちらとも言えない	38	31.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	25	20.8%
5	全くそう思わない	8	6.7%
6	非該当	2	1.7%
	合計	120	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	77	64.2%
2	どちらかと言えばそう思う	36	30.0%
3	どちらとも言えない	5	4.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	2	1.7%
	合計	120	



### 3. 2014 年度前期「授業改善のための学生アンケート」みなさんの声に応じて

学生の皆さんが回答してくれたアンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、自由記述も含めて、担当教員へすべて確実に届いています。この章では、アンケートを通じて届けられたみなさんの声に応じて、授業毎に担当教員からのメッセージをお戻しします。

#### ① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ

社会活動におけるマネジメント A	川中信	2014/月Ⅲ/前期
<p>一般的な必読書ビジネス書の一つくらいは読もうという出発点がこの授業にはありません。取り上げるのはドラッカー経営学とハーバード交渉学ですが、知識よりもその理解を深めるために、講義を可能な限り少なくして、毎回大事なところはロールプレーなどの演習をできるだけ入れながら授業を進め、要点はすべて教科書に印をつけたり書き込んだりしました。重複してでも必ずスクリーン（自由記述欄の回答中ではパワーポイントとの記載が多いが、実際にはアップルのソフトウェア <b>Keynote</b>）でもまとめて、全体像と毎回の講義のまとめや前回の復習を示しながら進めました。最終回は教科書やノートすべてを持ち込み可能で、教科書やスクリーンで指摘したことについて同じことをそのまま書いてもらったところ、次のような理解度を確認することができました。</p> <p>平均得点率 69.4%の確認テストにおいて 8 割以上得点したのは、4 割 35 人でした。履修者のうち優の評価だった学生は 5 割にもなりました。しかし平常点を加味しても、超欠を除く不可と可が 3 割 29 人、真ん中の良は 1 割。こうした結果から理解度に二極化した格差がある様子も再確認できました。これに関して従来は少人数授業で行っていたので、履修人数の多さも問題ではないかと心配でした。Q16「この授業の履修人数は適切でしたか」に対する回答は、「ちょうど良い」が 46.8%でしたが、「どちらかと言えば多い」と「多すぎる」とで 45.6%でした。・・・</p> <p>→ 詳細はこちらをご覧ください。</p>		

国際協力論 A	川中信	2014/火Ⅱ/前期
<p>アンケート結果からは、全体的には肯定的な印象を受けます。</p> <p>Q14 この授業の進度は適切でしたか。 「ちょうど良い」6 割、「どちらかと言えば速い」3 割</p> <p>Q15 この授業の難易度は適切でしたか。 「通常の努力で理解できた」6 割、「努力を要した」3 割</p> <p>Q16 この授業の履修人数は適切でしたか。 「ちょうど良い」9 割</p>		

**Q19** 満足していますか。

「どちらかと言えばそう思う」5割、中間値が2割、「強くそう思う」2割  
5段階評価の頻度で課題を探ってみました・・・

→ 詳細はこちらをご覧ください。

介護福祉論	川中信	2014/火IV/通年
<p>本科目は教職課程の「介護等体験の事前事後指導（2015年から名称変更）」です。学生の取り組みと理解、指導の適切さなどに関する質問項目について、5段階評価で平均が4以上の肯定的な回答の項目がQ3～Q13のうち7項目、平均は4.04でした。Q2毎週の学生取組時間数については、特別支援学校での体験時間算入と体験ノート提出が中心となる授業形態の捉え方の違いからばらつきがありましたが、他のQ3～Q13に対する回答からは、みなさんが意欲的、かつ興味を持って取り組まれたと感じます。Q14進捗については全員が「ちょうど良い」、Q15難易度は69%が「通常 of 努力で理解できた」、Q16履修人数は全員が「ちょうど良い」、Q19満足度は4.13でした。ご理解いただきありがとうございます・・・</p> <p>→ 詳細はこちらをご覧ください。</p>		

介護福祉論	川中信	2014/火V通年
<p>本科目は教職課程の「介護等体験の事前事後指導（2015年から名称変更）」です。火曜IV時限の同名科目と同じ内容です。学生の取り組みと理解、指導の適切さなどに関する質問項目について、Q3～Q13の11項目すべてで5段階の平均が4以上の肯定的な回答をいただき、全体の平均は4.16でした。Q2毎週の学生取り組み時間数については、特別支援学校での体験時間算入と体験ノート提出が中心となる授業形態の捉え方の違いからばらつきがありましたが、Q3「この授業に主体的に取り組むことができましたと思いますか」への回答は、「強くそう思う」が25%、「どちらかというと思う」が75%でした。Q4「この授業の内容を十分に習得できましたと思いますか」については、「どちらかと言えばそう思う」58%、「強くそう思う」が33%でした。これらからは、みなさんが意欲的、かつ興味を持って取り組まれたと感じます。Q14進捗については、「どちらかと言えば遅い」が1人いましたが、ほぼ全員が「ちょうど良い」。Q15難易度は、75%が「通常 of 努力で理解できた」でしたが、「多大な努力を要した」方も3人いました。Q16履修人数は、6割が「ちょうど良い」でしたが、「どちらかと言えば少ない」や「少なすぎる」も2人ずついました。Q19満足度は4.25でした。ご理解いただきありがとうございます・・・</p> <p>→ 詳細はこちらをご覧ください。</p>		

ボランティア・キャリア体験Ⅰ	川中信	2014/月Ⅴ・Ⅵ/前期
ボランティア・キャリア体験Ⅳ		2014/木Ⅰ・Ⅱ/前期
<p>本科目は共通科目の科目（2014 年から名称変更）です。少人数分散の学外授業先から事務室にわざわざアンケート回答に来ていただいた 15 人のなかでは、Q19 満足度は「強くそう思う」10 人、「どちらかと言えばそう思う」4 人、無回答 1 人でした。Q13「この授業の内容に興味を持つことができましたか」への回答は「強くそう思う」14 人、「どちらかと言えばそう思う」1 人でした。ご理解いただきありがとうございます。このように、みなさんが意欲的、かつ興味を持って取り組まれたと感じます。・・・</p> <p>→ 詳細はこちらをご覧ください。</p>		

図書館情報学概論	今井 福司	2014/火Ⅴ/前期
<p>■Q20 この授業について、良かった点、改善して欲しい点について</p> <p>多数のコメントを頂き、有り難うございました。</p> <p>良かった点として、授業後のコメントシートが良かった、授業用の Web サイトリンク集が良かった、プリントが詳しく良かったなどの評価を頂きました。これらにつきましては、決して準備が容易ではないものもありますが、今後とも継続して取り組んで参りたいと思います。</p> <p>一方で、板書の字が雑である、ゆっくり話をしたい、話が脇道にそれて本筋が理解しにくいところがあるなどのご指摘もありました。このうち、板書については、慌てて板書を書かないようにする、一定時間に提示する話題を厳選するなどして対応して参りたいと思います。今後も皆さんにとって最良の学習環境が提供できるよう改善を続けて参ります。</p>		

情報資源組織演習（分類）	今井 福司	2014/水ⅢⅣⅤ/前期
<p>■Q20 この授業について、良かった点、改善して欲しい点について</p> <p>多数のコメントを頂き有り難うございました。板書の丁寧さ、および話し方については、ご指摘にあったとおり、改善に努めて参ります。試験時間が 6 限にまとめて設定されているのは、受講する時限によって有利不利が生じやすい試験問題であるため、このような時間に設定しておりますが、本来受講している時間で受けられるようにできないか、検討して参りたいと思います。</p>		

図書館制度・経営論	堀 渡	2014/金Ⅴ/前期
<p>■Q20 毎回配布したレジュメについて</p> <p>内容は濃いですが、もう少し大事な強調点をまとめてほしいという指摘がありました。確かに、全部集めてみると、やや詳しすぎたと反省しています。</p>		

基本内容と参考事項を分けるとか、その基本内容を板書や例示をしながら強調し、あとは「読んでおいて下さい」の扱いにするとか、工夫したいと思います。

■Q22 リアクションペーパーの質問回答について

毎回、とてもたくさんの方の多くの方が書いて出してくれました。それは教師にとっては具体的にわからない事を教えてもらえ、また励みになることでした。

次回にそのフォローの説明に時間をついやしましたが、それでよくわかったという反応と、新しい話題を早く始めてほしかったという気持ちをもっていた、という両方のアンケートがありました。

どうもありがとう。

フォローの説明をプリント配布するほか、質問された事をそもそも講義の組み立てに生かしていきたいと考えています。

児童文化入門 (森下/石井)	森下 みさ子 (前期担当)	2014/火II/通年
----------------	---------------	-------------

自由記述欄を含めていてねいに答えていただき感謝しています。また、扱う対象（遊び、おもちゃ、おまけ、お菓子等）を具体的に提示した上で解説を進めたこともあって、とにかく楽しみながら学んでくれた人が多く、今後の授業を進めるにあたって大きな励みになりました。以下に、いくつかの点に絞ってコメントさせていただきます。

■Q2.「授業以外の学習」について

Q3の「主体的に取り組む」ことができた人が93,3%もいるのに、自主的な関連学習は大半が週に30分程度と答えています。これは、もしかしたら「授業以外の学習」を狭くとらえているせいかもしれないと思います。児童文化の範囲はきわめて広く、子ども時代を想起することを含めて、玩具や絵本やアニメを見ること、遊び場を探索すること等、意識をもって見直すならすべて学習につながってきます。授業の最後に1週間の課題として、授業以外でできること・やってほしいことを指示することで、「児童文化」の学びを支える大きな場に気づかせることもできたかなと思います。

■Q21.「あなた自身が学んだこと」について

Q20「授業の良かった点」を多くの方が「(具体的に)楽しかった」と同時に「有意義だった」と書いてくれており、授業の目的が伝わったことがうれしかったのですが、さらにQ21で下記のように書いてくれた人がいました。

「興味のあることに対して、どのように向き合えばその本質を知ることができるのかのヒントを沢山得ることができた事」「自分が持っていた『子ども』というイメージがガラッと変わった気がします。ある種の偏見みたいなものがなくなって、これからまっすぐ勉強ができる気がします。」「児童の目線から物事を見ることができるようになったと思う。」

ほかにもさまざまな発見を報告する記述がありましたが、上記の記述は、この授業で意図していたことをみごとに受け取ってくれていると思いました。とてもうれしく拝見し

ました。出席率も高く、「主体的に取り組むことができた」と感じられた人も高い割合でした。学生の皆さんが熱心に聞いて下さったり、授業内容に積極的に発言して下さったりしたおかげで充実した授業になったと私も感じております。また、自由記述には「一限なので、朝早く大変でしたが、子どもの心理について様々な視点から学ぶことができました。適切な言葉がけをしていきたいです」とのコメントがありました。授業の中では、子どもの心をどのように理解し、どのような言葉をかけるのかということを中心に議論しましたが、是非、実践に役立てていただきたいと思います。

### 児童文化講義・おもちゃ論

森下 みさ子

2014/火Ⅲ/通年

通年科目ですが、後期に改善できることがあればと思います前期にもアンケートを取らせてもらいました。結果、みなさんが楽しく受講していることがわかると同時に改善点も見つかり、さっそく後期の授業に活かしていきたいと思っています。

#### ■Q2.「授業以外の学習」について

授業以外の学習時間が週30分以下の人が多かったのですが、毎回書いてもらうリアクションペーパーや前期レポートの中身、授業以外で話に来る人を見ると、具体的な体験を通して学習が進められている気がします。「おもちゃ」から学ぶことの範囲の広さに気づいてもらい、日常的に意識化することで授業を支える広範囲の学びができることを示唆していきたいと思います。

#### ■Q20.「授業の良かった点・改善点」について

大人数のため出欠もかねてリアクションペーパーを書いてもらったのですが、とにかくみなさんが書く内容がおもしろくて翌週の授業の冒頭でいくつか紹介するようにしました。その結果下記のような感想をいただきました。

「リアクションペーパーを読み上げてくださる事により、みなを感じ方を知る事もできた」「生徒の声・意見を取り入れてくれて嬉しかった。」

紹介を重ねるにつれ、ますます深くていねいに書いてくれる人が増え、こちらも興味深く読ませてもらっています。また、書くことは授業内容と自分を関わらせて「考える」機会にもなるので、後期も続けていきたいと思っています。

改善点としては、Q9「板書について」は90,2%の方が「わかりやすい」と答えていましたが、数名の方から「黒板の字が薄くて見えにくい。」というご意見をいただきました。縦長の教室のせいもあるかと思いますが、後期は「強く書く」「色付きはなるべく使わない」「黒板の上下を交換して使う」等工夫したいと思っています。

ただ、上記の反省とは別に「黒板を写す」ことは社会に出てからはないので、「写す」だけに終わらないように、話を聞いて要点をまとめたり、聞きながら考えたことや疑問点をメモしたりする力も養えるよう、受講の仕方・ノートの取り方等いっしょに考えていきたいと思っています。

保育の心理学演習	波多江 洋介	2014/月1/前期
<p>出席率も高く、「主体的に取り組むことができた」と感じられた人も高い割合でした。学生の皆さんが熱心に聞いて下さったり、授業内容に積極的に発言して下さったりしたおかげで充実した授業になったと私も感じております。また、自由記述には「一限なので、朝早く大変でしたが、子どもの心理について様々な視点から学ぶことができました。適切な言葉がけをしていきたいです」とのコメントがありました。授業の中では、子どもの心をどのように理解し、どのような言葉かけるのかということを中心に議論しましたが、是非、実践に役立てていただきたいと思います。</p>		

② 大学院科目 授業担当教員からのメッセージ

発達臨床心理学特論C	波多江 洋介	2014/月V/前期
<p><u>「質問をしたい人が好きな時にできるというスタンスは良いと思います」「質問する時間を作った事によって、それがディスカッションにつながった」とのコメントがありました。</u></p> <p>→ 心理療法に関しては、“これが答えだ”という正解はありません。したがって、教員が“正解”を伝えるのではなく、参加者と議論をしながら様々な視点から検討を行うことが重要だと考えておりました。</p> <p><u>また、「想像しやすい本の内容であった事が良かったと思う」とのコメントもありました。</u></p> <p>→ 心理療法に関する原則というものがありますが、そうした原則をどのように使っていくのかというのは常に具体的な事例（具体的な場面）の中で考えていく必要があります。したがって、具体的な事例が多く含まれているということを、課題の図書を選択する基準の一つにしております。</p> <p><u>さらに、「月曜日の5限で、実習の後に授業があるのは厳しいです」とのコメントがありました。</u></p> <p>→ 他の活動と重なって出席が難しかった方には申し訳なかったです。時間帯に関しては来年度以降、再度、検討したいと思います。</p>		

### ③ FD 推進委員会からのメッセージ

「授業改善のための学生アンケート」をはじめ、よりよい学びについて考える様々な機会を提供していく役割を担っているのがFD 推進委員会です。FD 推進委員会からは、アンケートそのものの適切性についての設問 (Q23) で寄せられた学生のみなさんの声に応えます。また、アンケート結果からみられる全学的な傾向を踏まえて、みなさんへよりよい学びのためのメッセージをとどけます。

**「Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。」に対する回答は、以下のとおりでした。**

「はい」	7,741 件	79%
「いいえ」	105 件	1%
「無回答」	1,926 件	20%

**「Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述しなさい。」に対して、次のようなコメントが寄せられました。**

#### アンケートについてのコメント 1

**アンケートに書いたことが伝わっているかどうかわかりません。アンケートは本当に意味があるのでしょうか。(2件)**

アンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、皆さんが意見を書いてくださった自由記述も含めて、担当の先生へすべて確実に届いています。しかしながら、アンケート実施時期が期末であることから、アンケート結果によってその授業がよりよくなっていく様子を皆さんが直接目にするのが難しく、「伝わっているかどうかわかりません」「本当に意味があるのでしょうか」という意見が学生の皆さんから挙がることは非常によくわかります。そこで、担当教員または大学より、皆さんのアンケートをどのように受け止めたのかを目に見える形で応える試みを始めました(「3. 2014 年度前期「授業改善のための学生アンケート」みなさんの声に応じて」)。取り組みはまだ始まったばかりで、小さな一歩ではありますが、すこしずつでもみなさんへ届き、時にみなさんの学びの助けとなることを期待しています。

このアンケート結果が、教員にとってよりよい授業のための大切な資料となっていることは確かだということも、もう一度ここで皆さんにお伝えしたいと思います。そして、よりよい授業の一端を担っている学生の皆さんにとっても、授業終盤で実施されるこのアンケートが自らの学びを見つめなおす大切な機会となっていることを期

待しています。あなたは十分な準備を持ってその授業にのぞみ、積極的に参加しましたか。その授業で得た知識や力はどのようなことだったと考えますか。学びをさらに深めるため、あなた自身はどのような取り組みをしたらよいと考えますか。主体的に学ぶということについて、そして、あなた自身のこれまでとこれからの学びについてぜひ考えてみてください。

#### **アンケートについてのコメント2**

**板書をしない授業なのに板書についての質問があったり、実習形式の授業で答えにくい質問があったりします。(4件)**

全学統一フォームでアンケートを実施していることから、実際の授業形態と質問項目がそぐわないことがあるというご指摘だと受け止めています。このアンケートを開始するにあたり様々な方法を検討しましたが、あえて同じ物差しで本学のすべての授業を振り返ることも重要であるとの見解から、全学統一フォームで実施することにしました。ただし、授業形態は授業の数だけあるといっても過言ではありません。その授業にはふさわしくない設問があり、担当教員から回答不要と指示された場合には、該当の設問にかぎり未回答（マークをしない）ということも許されています。各授業担当教員の指示に従ってください。

#### **アンケートについてのコメント3**

**アンケートのマーク方法を改善してほしい。(3件)**

「マークがしにくい」「マークの方向を縦向きにしてほしい」といった具体的な意見もみられました。授業改善のための学生アンケートについては、質問内容や実施方法など繰り返し点検を重ねています。すぐに変更とはいきませんが、いただいたご意見を参考に、また総合的にも判断しながら、今後は学生のみなさんにとっての「回答のしやすさ」についても再点検をまいります。

## 社会活動のマネジメント A

川中信 2014/月曜Ⅲ 時限/前期

一般的な必読ビジネス書の一つくらいは読もうという出発点がこの授業にはあります。取り上げるのはドラッカー経営学とハーバード交渉学ですが、知識よりもその理解を深めるために、講義を可能な限り少なくして、毎回の大事なところはロールプレーなどの演習をできるだけ入れながら授業を進め、要点はすべて教科書に印をつけたり書き込んだりしました。重複してでも必ずスクリーン(自由記述欄の回答中ではパワーポイントとの記載が多いが、実際はアップルのソフトウェア Keynote)でもまとめて、全体像と毎回の講義のまとめや前回の復習を示しながら進めました。最終回は教科書やノートすべて持ち込み可能で、教科書やスクリーンで指摘したことについて同じことをそのまま書いてもらったところ、次のような理解度を確認することができました。

平均得点率 69.4%の確認テストにおいて 8 割以上得点したのは、4 割 35 人でした。履修者のうち優の評価だった学生は 5 割にもなりました。しかし平常点を加味しても、超欠を除く不可と可が 3 割 29 人、真ん中の良は 1 割。こうした結果から理解度に二極化した格差がある様子も再確認できました。これに関して従来は少人数授業で行っていたので、履修人数の多さも問題ではないかと心配でした。Q16「この授業の履修人数は適切でしたか」に対する回答は、「ちょうど良い」が 46.8%でしたが、「どちらかと言えば多い」と「多すぎる」とで 45.6%でした。

## Q3「この授業に主体的に取り組むことができたと思いますか」への回答

5 段階評価のうち「強くそう思う、以下 5/5 と略記」と「どちらかと言えばそう思う、以下 4/5 と略記」を合わせて 6 割でした。それらと「全くそう思わない、以下 1/5 と略記」や無回答との中間である、3/5 を選択した方も 3 割いましたので、全体的には 9 割の方が主体的に取り組めたのだと思います。

## Q4「この授業の内容を十分に習得できたと思いますか」に対する回答

5 段階評価のうち 5/5 と 4/5 の肯定的な回答は合わせて 50.6%で、中間値 3/5 を合わせると 75.9%でした。また Q19「満足度」も 5/5 と 4/5 の肯定的な回答を選んだ方は合わせて 44.3%で、否定的ではないという理解で中間値 3/5 を合わせると、満足度は 74.7%でした。

## 授業内容と指導についての自由記述の回答をありがとうございます

今回は自由記述を特にお願したところ、次の通り回答を多数いただきました。ありがとうございました。

Q20.この授業について、良かった点、改善してほしい点。回答 72 件

Q21.この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していること。回答 65 件

Q22.(教員より指示があった場合のみ記述してください)→指示はしなかったと思いますが、回答 2 件

データに続けてQ20-Q22の自由記述をもれなく重複なくQ6-Q14いずれかに関連づけて分類し掲載します。教員の回答はできるだけ各項冒頭にまとめました。内容に関するご意見は末尾に掲載しました。

## 授業力の改善に関する Q6-Q9 への回答まとめ

### 授業力の改善に関するデータまとめ

Q6～Q9 への回答を授業力の改善に関するものと仮に分類し、5/5～3/5 の否定的ではない回答の割合を計算してみました。その結果は次の通りでしたが、中間値3/5の回答はそれぞれ2-3割含まれていました。「全くそう思わない」はすべての回答につき2-5人の学生がいました。

Q6「教員の話は聞き取りやすかったですか」への否定的ではない回答は70.9%。

「どちらかと言えばそう思わない」は79回答中18人で22.8%でした。

Q7「教員の説明の仕方はわかりやすかったですか」への否定的ではない回答は64.6%。

「どちらかと言えばそう思わない」は79人中17人で21.5%でした。

Q8「教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか」への否定的ではない回答は82.3%

Q9「板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか」への否定的ではない回答は75.9%

### Q6「話は聞き取りやすかったか」とQ7「教員の説明の仕方」に関する自由記述

この2つの質問に対する否定的ではない評価が6割程度に留まり、「どちらかと言えばそう思わない」は2割でした。これら2つに対する回答として分類した自由記述は以下の通りですが、くっきり評価が分かれたことが自由記述からもわかります。否定的な回答が少なくない点が冒頭に触れた理解力の格差とも同じ傾向ですが、引き続き課題意識を持って聞き取りやすさとわかりやすさを改善してまいります。

1. プチロールプレイをやる事で理解を深めることが出来た。
2. 進め方については、ロールプレイがあったためより内容を理解できたので良かったと思いました。
3. もう少し分かりやすく説明して欲しいです。特にページ指定や線を引くところはもっとゆっくり言うて欲しくて、書いている途中に言われちゃうと分からなくなります…。
4. 進め方は、少しやりにくいところもあったけれど、良かったです。
5. 先生が何を言っているか分からない。
6. 説明が少し足りないと感じる事があった。
7. ロールプレイなどが良かったです。
8. パワーポイントが初めの方見えにくかったが、だんだん先生と私たちがコミュニケーションをとりながら授業できるようになったので改善した。一つ一つ丁寧に教えてくださり、不明なところがなく、わかりやすかった。

9. 今まで勉強したことのない専門的な分野を1から学んだので、スピードが早く、理解するのに時間がかかった。話し合いは良かったが、いまいち何を目的としているのか、またその話し合いによって先生が何をしたかったのかという意図は伝わりにくかった。
10. ロールプレイングは良かったと思います。教科書は良いのですが、先生が何の説明しているのかわからなく、難しく感じてしまった。
11. ペアとの読みあわせは意味が無かったと思います。ディズニーの交渉体験はハード型、ソフト型を知るきっかけになって良かったです。
12. 教科書読み進めていくような授業は眠かった。  
**11.と12.へのコメント**→本を読むきっかけになるよう教科書を活用しましたが、教科書を持って来ない学生が少なくないので、対策を工夫したつもりでした。重要な段落だけ読んでもらったり、グループごとに朗読劇のように演じさせたり、そして読みっぱなしにせず短くとも意見を書いたり話し合ったりする。こうすることで教科書の効果が大きくなるはずです。また教科書を持ってこない学生も隣に見せてもらいながら読むことによって、少しでも内容に触れられるようにしたのも工夫です。
13. ドラッカーも交渉も読み合いで、時間かせぎはどうかと。あと、アンケート中に良い事を書けって言っちゃいけないと思います。  
**13.へのコメント**→Q21「この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省」について回答 67 件をいただきましたが、「良い事を書け」とはその学んだことを書くときの指示でしょうか。読み合わせが時間稼ぎかどうかは、ロールプレーのために教科書を使用したことへの評価でしょうか。
14. 進め方は良かったと思います。私自身、この授業の内容に興味を持つ事ができたので自分の為になったと思います。
15. とても良かったと思います。学生の事をとても良く考えて下さっていると感じました。
16. 〈ススめ方〉教科書に書き込んでいくというスタイルが良かった。見返すとよくわかるようにまとめられる授業であったと思う。グループワーク/ペアワークなどは苦手であったが、必要であると思う。
17. 説明が長くて眠くなる時があった。最初にやった実践型の授業は楽しかった。
18. 授業で2人組のロールプレイは良い眠気ましになって良かったです。もっと自分で考えて問題に答えるような機会があれば良いと思いました。
19. 人数がとても多かったが、2人1組で行うワークシートは楽しめました。大事なポイントには線を引いたり、声をかけてくれる点が良いと思いました。
20. 進め方について、少しパワーポイントが多い気もしたが、特に分かりにくかったなど問題があるわけではないです。
21. 分かりやすかった。
22. ドラッカーは、WS(川中注:ワークシート)を書く事は文章への書き込みにより理解が深まった。交渉術は、人と読み合わせをしながらやっていくことで分かりやすくなった。

23. ドラッカー:分かりやすく良かったです。交渉術:少し分かりづらかったので、もっとゆっくりと説明して欲しかったです。
24. もっと多くの事例に触れて欲しかった。そういう点で寝ている人、授業始まってもおしゃべりを続けている人をなんとかして欲しかった。でも、所々アクティビティがあったり、最後にその授業でやった内容を振り返るのは、とても良かったと思う。
25. マネジメントを通して交渉術というものを学べて良かった。授業は聞きとりやすく面白かったです。
26. 事例が、どのように主題と繋がっているのか、あまり理解できなかった。
27. 少し難しかった。もっと簡単に説明して欲しかった。
28. ドラッカーは大変今後の人生で役に立った。生徒目線としては交渉術よりドラッカーの方が興味を持っている割合が多いように思った。交渉術は目的を理解するまでに時間がかかった。
29. ワークシートのをもうちょっと答を正確にして欲しい。でもとても分かりやすく、この授業をとってとても良かったです。マネジメントはとても深いと思った。

#### Q 8「教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか」に関する自由記述

関連する自由記述は否定的なものも目立つのですが、否定的ではない評価が8割程度に達しました。

1. 毎回、教科書が変わるのが面倒だった。  
**コメント**→ご案内した通り前期前半にハーバード交渉学、後半にドラッカー経営学を使用しました。ただ前期1/3経過したところで提出してもらった交渉学のレポートに問題ある学生が多かったので、続きの詳しい話に入らずに、つぎの教科書に進んでから再び戻ったということはありませんね。
2. 事例を使って分析する事で理解しやすかったです。
3. ドラッカーは難しかった。交渉術とドラッカーの両方を使う意味が理解できない。  
**コメント**→ドラッカーの「ビジョン・ミッション」と「顧客が重視する価値」がわかっていないと、ハーバード交渉学で学ぶ、双方の「利害」「原則」が一致した、まともな話し合いや交渉ができないからです。就活の「自己分析」と「自己PR」の関係に似ています。もっと理論を使う練習が必要ですね。
4. ドラッカーは、すごくテキストが見やすかった。WS(川中注:ワークシート)の活用を有効した(原文まま)。交渉術は、小さく持ち運びが便利だった。
5. 授業で使用した二冊の本は、両方とも必要なのかもしれないけれど、私としては重く、一冊しか使わない時も多々あったので、できれば一冊の方が嬉しいと感じました。
6. 前期で2冊やると消化不良になるので、どちらかにしぼって欲しいです。どちらも人生で非常に役に立ちそうな教科書であると思います。  
**コメント**→どちらかだと話が詳しくなり、それが難しく感じる学生が増えます。片方は文庫版で教科書を両方お持ち頂いたのは最初と最後だけのつもりでしたが、さらに明確に指示していきます。

7. ドラッカーも交渉術も良い教材だと思う。
8. ドラッカーを用いた授業は分かりやすかった。
9. ドラッカーや交渉術はあまり教科書向きではないと思った。もう少し内容が簡潔に書かれているものの方が見易いと思う。

**コメント**→教科書に対するイメージの違いでしょうか。知識理解だけですとご指摘のように簡潔なもの、ハッキリ言えば板書だけでも「知れば良い」こととなります。技能のように考える力を練習したり習得したり、事例をいくつも読んで分析したり練習したりできる教科書として採用しました。教科書は米国の本ですので、簡潔なまとめが何箇所もあります。そこだけでも探して読んでみませんか。

#### Q 9 板書(パワーポイント等も含む)に関する自由記述

自由記述に以下の通り否定的なものも目立つのですが、否定的ではない評価は75.9%もありました。

1. 進め方:ロールプレイは実際に自分で考える事が出来るので良かったです。パワーポイントも大事な事が書いてあったので、どこを中心的に見れば良いか、分かりやすかったです。
2. パワーポイントのページの切り換えが早かった。ついて行くのが大変だった。
3. 授業に沿ってパワーポイントが作られていて分かりやすかった。パワーポイントが先に進むのがちょっと早かった。
4. パワーポイントが見やすく←(少し早かった)プチロールプレイは楽しかったし、ためになった。ロールプレイは続けて欲しい。
5. パワーポイントが見やすかったです。ロールプレイは今後もやるべきだと思いました。
6. スクリーンが少し速いです。ロールプレイは身近にいろいろ考える事ができて良かったです。
7. パワーポイントが見やすかったです。
8. 画面の切り換えが早すぎた。
9. スクリーンを使つての授業が良かったと思います。
10. パワーポイントや隣の人との話し合い。
11. パワーポイントが分かりやすいのに少しスピードが速かったので改善したらより良いと思いました。
12. パワーポイントが少し速いと思いましたが、だんだん気配りをしてくれたので良かったと思います。

#### 指導力の改善に関する Q10-Q15 への回答

##### 指導力の改善に関するデータまとめ

指導力の改善として独断で分類した質問に関して、5/5～3/5 の否定的ではない回答の割合を以下に箇条書きにしました。2-3 割の中間値 3/5 の回答を含む。「どちらかと言えばそう思わない」は各回答につき 79 人中 7-12 人、「全くそう思わない」は各回答につき 3-4 人の学生がいました。

Q10「学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか」 84.8%

Q11「教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか」78.5%

Q12「この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか」73.4%

Q13「この授業の内容に興味を持つことができましたか」75.9%

Q14.「この授業の進度は適切でしたか」については、54.4%が「ちょうど良い～遅すぎる」との回答でした。「どちらかと言えば速い」の回答は26人 32.9%、「速すぎる」7人 8.9%でした。

Q15「この授業の難易度は適切でしたか」については、55.7%が「通常の努力で理解できた～ほとんど努力をせずに理解できた」でしたが、「理解するのに多大な努力を要した」は23人 29.1%、「努力したが理解できなかった」方も9人 11.4%いらっしゃいました。

#### Q10「学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか」に関する自由記述

おかげさまで、否定的ではない評価は84.8%に達しました。

1. 私達の理解度を見ながら進めて下さったのはとても有難いと思うが、方針が定まらない感じがして、私は適応するのに大変だった。こうすると決めたら、その方針で行って欲しい。  
コメント→確かに大人数教室で多様な学生に対応する場面が多かったとは思いますが、それでも指導力に関する回答では賛否が分かれました。授業計画や方針は、シラバスとスクリーンの計画、そしてワークシートの計画がありましたので、方針のブレは感じていませんでした。ただワークシート分析する事例数は割愛し、教科書が揃うまでディズニーの事例を追加しました。
2. 疑問点について個々に丁寧に説明していてわかりやすかった。
3. ドラッカーの方が、ハーバードよりも分かりやすかったです。少し難しく追いつけなかった所もあったが、先生は質問するとしっかりと答えて下さったので、理解できました。

#### Q11「教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか」に関する自由記述

自分では一生懸命に取り組んだつもりだった点でもあり、否定的ではない評価は78.5%ありました。

1. ロールプレイで理解をより深められた。文をお互い読み合う事で内容が頭に入ったと思う。
2. いちいち聞いてない人の対応をしなくても良いと思う。せめてマイクを使わずに対応して欲しい。説明が頭の中を整理できていないように感じた。
3. 生徒が必死にノートをとっているのに全く全体を見渡せられていない為、先生のスピードでどんどん進めていく。生徒が理解できてない事に気づいてない？マイクを何回も倒してうざい、うるさい。授業1つ1つに筋がない。何が一番に伝えたいのかわからない。  
コメント→説明はシラバスとスクリーンの計画、そしてワークシートとで整理してありました。

4. 聞いてない人に対してまた説明を始めたり、スマホなどをいじっている人に対して黙って見て授業を止めたりした点は改善すべき。
5. とにかく早かったです。説明やパワーポイントなど。学生のあら探しをするより、ノートを取る手がまだ動いているかどうかなどを見た方が良いと思います。  
コメント→確かに多様な学生に対応する場面が多かったとは思いますが。ノートに関しては指示してからも書き始めない方もいるなかで、説明を聞きながらノートを取り終わっている方もいて手もとだけでは確認できず、大人数教室で全員のノートを授業中に指導するのは難しいと感じています。
6. 隣の人とやるのは目も覚めて良かったけれど、交互に読む意味は良く分からなかった。
7. ペアワークをしたのは良かった。交渉の問題点を体験し、理解する事ができた。実際交渉をするのは新鮮で良かったです。
8. ドラッカーのワークシートの書き方が良く分からない時がありました。ドラッカーは少し難しかったです。交渉術の方は楽しかったです。ロールプレイはあった方が良いと思います。
9. ANAなど、事例を挙げての説明が良かった。何度も授業内容の確認をして下さったのは有難かったが、指示を聞いていない。学生の割合が多く、学生に対して、どうにかして欲しいと思った。
10. 進め方: ペア学習なども楽しかったけど、マト(2人の転記ミスか)にこだわらず、3人とかでもいいかなと思いました。先生がついて行けない人の対応をすごく丁寧にしてて優しかった。

#### Q12「この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか」に関する自由記述

否定的ではない評価は 73.4%したが、否定的な貴重なご意見も掲載します。

1. 今回のように、テストで出る所を復習する時間を与えてくれるのが、良い点だと思いました。
2. 最後の授業で総復習をしてもらえたので、理解が深まった気がした。
3. ロールプレイやワークシートを記入するなど作業があったので記憶に残りやすく、先生がテストについて話をしている時もよく覚えていた。
4. 先生が授業で何をやりたいのか、また、授業の進め方など、最初から最後まで全くわかりませんでした。せっかく生徒の話を聞きながら授業を進めているのだから、もっと伝える事だけでもわかりやすくすべきだと思います。

コメント→伝える知識よりも、学生が考えたり話し合ったり分析したりする力をつける授業でした。

5. 隣の人と話し合うのは良かったが、難しく話を理解できなかった。
6. ロールプレイは楽しかったが、結局何をやっているのか良くわからなかったです。もう少し将来に活かせる授業を期待していました。私は1人で授業をとっていたので、2人1組の形式は正直辛かったです。英語は必要と思いませんでした。

コメント→もともと英語のテキスト2冊でやってきた授業なので、その名残があります。グローバルな

力をつけるため、日本語ではわからない意味がある考え方や言葉を厳選してお伝えしました。その力には、知らない人とも意思疎通できる力も含まれるので、参加型授業にしました。

7. この授業を通し、何が役立つのか、実践できるのか、全く理解できなかった。
8. ハーバード流交渉術は分かりやすくて良かったです。ドラッカーの本は少し難しかったです。

#### Q13「この授業の内容に興味を持つことができましたか」に関する自由記述

否定的ではない評価は 75.9%でした。

1. 先生の体験談の話は面白かったのですが、たまにスライドを変えるのが早すぎて、たまに付いて行けなかったです。
2. 授業ごとの先生の話がとても興味深く、面白かった。先生が感情的に訴えかけてきた話に感動しました。
3. 教科書に沿って進めた授業よりも、企業のHPなどを例に出して、どのような経営をしているかを学ぶ授業の方が分かりやすく、興味が湧いて集中できた。
4. 先生は国連の活動など、とても貴重な活動をしておられるので、その時の話をもう少し聞けたら良かった。

#### Q14「この授業の進度は適切でしたか」に関する自由記述

54.4%が「ちょうど良い～遅すぎる」との回答でした。「どちらかと言えば速い」と感じた方は 26 人 32.9%、「速すぎる」は 7 人 8.9%でした。スクリーンに関する自由記述もみられますが、どちらかというに進度にも関すると思われる記述を選んで、Q9 とは重複なくこちらに整理しました。

1. 進め方は丁度良かった。ただ、トイレに行っただけで、チェックを付けられるのは嫌だった。
2. 進みが少し早かった。理解するまでに至らず。
3. 少しペースが早いところがあった。ノートを書く時等に。
4. 進め方は少しパワーポが速くて写すのが大変でした。たまに何をやっているのかよく分かりませんでした。ロールプレイは良かったです。
5. 進め方について。進度が速く、うまく理解できないまま進んでしまう事があった。ロールプレイや実際の交渉を通して理解する事は多かったのですが、続けるべきだと思った。
6. パワーポイントを変えるのが速い。
7. 最初にやったロールプレイを、最後に理解した上で、やってみたかった。人数が多すぎたので、何度も足踏みをして進んでいたため、進みは遅かった気がする。皆に理解してもらう為に、重要な点を強調して言ってくれるのは良かった。

8. 進め方が速くて、よく分からない所が多かった。
9. 復習の時間が長すぎる。教科書を忘れた人に合わせてしまう部分があるから、最後の授業までそういう人がいて、授業の進みが遅いのだと思う。
10. 時々話について行けなかった。
11. 進め方は早かった。画像や動画をもっと増やして欲しい。ロールプレイはやっている意味がわからなかった。
12. 進度が少し速くて、パワーポイントについて行くのも必死でした。
13. パワーポイントの速度が速かった。
14. 進め方はちょうど良いと思う。
15. 板書？パワーポイントが早かった。
16. パワーポイントが速かったので、もうちょっと遅くして欲しい。
17. 字を書くスピードが遅くて、ついていけない事がありました。単位がとれるか心配です。
18. もう少しゆっくりした方が良い。
19. 少しテンポが遅いように感じた。もう少し早い進度でも良かった。
20. 進め方は進度が早すぎず、ゆっくりすぎず、良かったと思う。

#### Q21「この授業を受講して学んだこと、反省していること」に関する自由記述

ドラッカー経営学とハーバード交渉学とどちらがよかったかなど比較も含めて、学んだ内容について記述していただきました。上で既出の自由記述は重複して掲載していません。どの質問の回答に関連するか迷う場合は、Q21の自由記述欄に書かれたものはこちらに掲載し、Q20やQ22に対する回答も内容によっては、以下に整理しました。以下の自由記述44件のうち、ドラッカー経営学のみ肯定的な回答は10件、ハーバード交渉学のみ肯定的な回答は13件、両方について肯定的な回答は16件で、比較した結果は僅差でした。あわせて39件の学んだ内容に関心があると肯定的なコメントをいただきました。次年度も両方をバランス良くわかりやすく扱っていくこととしたいと思います。

1. ドラッカーも交渉術も、この授業でしか学べない事ばかりだったので、とても自分のためになった。
2. ドラッカーは曖昧で理解しきれなかった。交渉術は繋がった瞬間全て理解できた。
3. ドラッカー・交渉術
4. 実際に交渉するのは良かったと思う。
5. ドラッカーでは、ディズニーやANAなどの企業の使命など、身近な事の知らない事を知る事が出来て面白いと感じた。交渉術については、ペアワークなど若干面倒だと感じる事もあったが、方法や基準を知る事ができ、ためになった。

6. ドラッカーや交渉術は楽しかったです。でも、事例が分かりにくかったです。
7. ドラッカーは事例も載っており、分かりやすい。交渉術も事例もあり、まとまっていて理解できと思う。
8. 事例についての分析は、社会のマネジメントを理解するのに役立った。交渉術では、自分の主張をいかに上手く通すかを考えながら出来て楽しかった。
9. 良い交渉をする為には何が大切かを学んだ。
10. ドラッカーは内容が難しかった。交渉術は2人でやった、ディズニーのが楽しくって交渉術が分かりやすかった。
11. ドラッカーは様々な企業を例に取り上げて進めて下さったので、興味を持って聞くことが出来た。交渉術は内容が難しかったが、とても役に立つものだと感じた。
12. どちらも理解した。今後のためになる内容だと思う。
13. ドラッカーはワークシートによって、自分の理解が確認できて良かった。交渉術は実際に自分がロールプレイを通して学ぶ事があったので、今後に生かしたい。
14. もっと質問すれば良かったです。
15. ドラッカーより、交渉術の方が良かったです。
16. ドラッカーはいろいろな話を書いてあり、興味を持てた。
17. 授業の前期の頃のロールプレイは分かりやすかったが、次第に分かりづらくなっていった。どちらかと言えば、交渉術よりドラッカーの方が内容は理解しやすい。
18. ドラッカーはワークに書ききれない事が多々あり、やりづらい。交渉術は要点をまとめたりして理解ができた。
19. ドラッカーの教科書は、私は今3年生なので、企業の使命などに関する内容はとても役に立ちました。
20. 交渉において大切なことを学ぶことが出来た。
21. ドラッカーの交渉術の本を読んだだけではわかりにくいところも、友だちと話し合ったり、実際に事例を考えながらできたので、より身近に学習できた。
22. ドラッカー交渉術は、はっきり言って良くわからなかった。身についた感じがしない。
23. ドラッカーは良いと思いますが、交渉術のワークシートはどちらかと言えば良くないと思います。
24. 交渉は進め方しだいで有利にも不利にもつながるなと思った。
25. 交渉術で自らある事を交渉する事ができたので、この授業をとって良かったと思う。
26. ドラッカーはオリエンタルランドなど、自分の興味ある会社の内容を使ってくれた事で会社について考えた事がなかった事を考える良い機会でした。交渉術は身近な事でもあるので役に立ったと思います。
27. ドラッカーの内容はとても興味深かった。

28. ドラッカーは本事の本質が何なのかを分析することが大切だと思った。交渉術は、日常でも使えるような交渉の方法を学べて良かったです。
29. 何を得られたか、分かりません。
30. 価格的に高いのと、見づらいという点から、ドラッカーは要らないのではないかと感じた。前期しかっていない学生にとっては、かなりの出費だと思う。
31. ドラッカーは普通に楽しかったけど、無理にペア学習をいれようとしなくてもいいと思いました。交渉術の最初の方の実際に交渉するのが楽しかったです。
32. 交渉術は小さい実践的な事をやってみて、話で聞くのと実際にやるのとでは、全く違ってとても難しかった。
33. 少し分かりづらい本の箇所があった。
34. 難しかった。
35. 交渉術はロールプレイングが分かりやすくて良かった。ドラッカーは実際に企業のHPを見たりするのが面白かった。
36. ドラッカーや交渉術もこのままで良いと思います。
37. 〈ドラッカーは？〉〈交渉術は？〉ドラッカーは、事例など興味が持ちやすく、面白かった。交渉術の教科書よりもドラッカーの方が好きであった。
38. 内容は難しかったが、交渉術で大事な事を学ぶ事ができたので、今後、そのような場があれば実践してみたいと思います。
39. ドラッカーは事例と共に理解する事ができるので、勉強しやすかった。
40. 交渉術の概要しか分からなかった。もう少しドラッカーとしての実践的マネジメントをしたかった。  
コメント→交渉学の新しい本を図書館で見ても発展させてはいかがでしょうか。相手が汚い手を使う場合は教科書の後半にもありますし、心理学者と共著の新ハーバード交渉学は面白かったです。おすすめです。ドラッカーの実践は、部活やアルバイト、ボランティア先などで実践をして、ドラッカーの教科書を分析フレームワークに活用して、発表報告、グループディスカッションをするのが理想です。そうした社会性や社会的対人関係がある学生でないと、授業が成立しない怖さがあるって、実践的マネジメントを体験してもらって代わりに、教科書の事例分析のレベルに自主規制かけてとどめているのが歯がゆいです。来年、ちょっと実験導入してみましよう。
41. 交渉術は将来の役に立つと思うし、受けて良かったです。これからも続けて欲しいと思います。
42. ハーバード交渉術はわかりやすくて為になるところもあったけど、ドラッカーはよく分からなかった。
43. ドラッカーに関して興味があった為にこの授業をとって良かった。
44. ドラッカー、交渉術は、これからの社会活動の中で、活かしていけそうな内容だったと思う。

みなさま、自由記述によるアンケートに様々なご意見を頂き改めて御礼を申し上げます。

## 国際協力論 A

川中信 2014/火曜Ⅱ時限/前期

アンケート結果からは、全体的には肯定的な印象を受けます。

- Q14 この授業の進度は適切でしたか。「ちょうど良い」6割、「どちらかと言えば速い」3割  
 Q15 この授業の難易度は適切でしたか。「通常の努力で理解できた」6割、「努力を要した」3割  
 Q16 この授業の履修人数は適切でしたか。「ちょうど良い」9割  
 Q19 満足していますか。「どちらかと言えばそう思う」5割、中間値が2割、「強くそう思う」2割

## 5段階評価の頻度で課題を探ってみました

Q3-Q13 (Q5 シラバス関連除く)すべての質問への回答(5段階)を、多かった回答数の頻度順に並べてABCにグループ分けしてみました。また5段階評価の5/5「強くそう思う」と4/5「どちらかと言えばそう思う」という回答の構成比率の累計によってグループ分けをしてみても、分けする境界値は異なっても、Cグループとまったく同じ改善課題のある領域があることがわかりました。

**Aグループ:** どの質問に対しても、5段階評価の4/5「どちらかと言えばそう思う」という回答が一番多かったのですが、各質問につき **5割**からこの回答があったのは、以下3つの質問についてでした。「Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか」「Q3 この授業に主体的に取り組むことができたと思いますか」「Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか」

興味を持てたか、主体的に取り組めたか、教材の適切さという3つの質問に対する、肯定的な回答5/5と4/5をあわせた回答比率の累計は各7割であり、中間値3/5も含めると8-9割が否定的でない回答でした。そのうち「興味を持てたか」と「教科書・教材(ビデオ含むかは回答者による)の適切さ」については、「強くそう思う」5段階評価の5/5の回答も、それぞれの質問への回答の四分の一もありました。

**Bグループ:** 各質問の中で **4割**の回答があったのは、以下4つの質問についての「どちらかと言えばそう思う」という回答でした。「Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか」「Q9 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか」「Q4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか」「Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか」

4ついずれに対しても、肯定的な回答5/5と4/5に中間値3/5もあわせた回答比率の累計が8割でした。なかでも質問相談への対応の適切さと、スクリーンのわかりやすさとの2つについては、肯定的な5/5「強くそう思う」が各質問に対する回答の3割を占めました。

**Cグループ:** **3割**から回答があったのは、以下3つの質問についての、5段階評価の4/5「どちらかと言えばそう思う」という回答でした。既出で、かつ中間値3/5が回答の3割を占めたQ4とQ12を除く。「Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか」「Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか」「Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか」

## 評価のバラツキがみられた、授業力や指導力に関するご意見

この結果から課題が見えてきました。C グループは 5/5 から中間値 3/5 の否定的ではない回答が 7 割以上だったとはいえ、2/5「どちらかと言えばそう思わない」という評価も 2 割あったり、バラツキが大きかったりしたのも事実です。バラツキが少なかった Q13 と合わせて実数で提示してみたいと思います。

下の表の、5/5 はアンケートでは「強くそう思う」、4/5 は「どちらかと言えばそう思う」、3/5 は「どちらとも言えない」、2/5 は「どちらかと言えばそう思わない」、1/5 は「全くそう思わない」という選択肢でした。

アンケートの質問	5/5	4/5	3/5	2/5	1/5
Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか	6 人	12 人	9 人	10 人	2 人
Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか	7 人	11 人	11 人	8 人	2 人
Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか	9 人	11 人	10 人	7 人	2 人
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか(比較のための参考)	9 人	20 人	5 人	3 人	2 人

つまりバラツキとは、たとえば話は聞き取りやすかったと「強くそう思う」学生が四分の一はいる一方で、2 割の学生が「どちらかと言えばそう思わない」か「全くそう思わない」と感じた事実です。このバラツキ傾向は他の大人数の教室でもわかったので、A グループで回答いただいた学生の「興味」「主体的な取り組み」「教材」についての肯定的な面を活かせるように、さらに「わかりやすさ」「説明や指示」「聞き取りやすさ」を改善してまいりたいと思いました。参考になりました。ありがとうございました。

## フレームワーク分析(作表やキーワードを使った思考法)の学習について

### 分析に使うキーワード・概念に言及した自由記述 17 件

キャロライン・モーザの男女共同参画計画概要表の分析要素である、「実際の・戦略的ジェンダーニーズ」「エンパワーメント等の、政策アプローチ」「ジェンダー役割(女性の三重の役割)」といった、3 つの概念だけ学びました。国際協力のビデオをいくつかみて、3 つの概念を使ったフレームワーク分析が習得できるように演習も繰り返しました。そうした概念や学んだ内容に言及した自由記述欄は 17 件ありました。別掲の意見を除いて Q21「学んだこと」に対する回答から自由記述をみれなく以下に掲載します。

1. 三重の役割、エンパワーメントの定義、5つの政策アプローチを特に学んだ。生産・再生産・地域についての、それぞれの役割を理解出来た。
2. 三重の役割、5つの政策のアプローチ。女性がどのような仕事をして、どんな事に役立っているかが分かった。仕事の観点から見ると、女性の方が大変だし、役立つ仕事をしていると思った。
3. 5つの政策アプローチについて、実際の・戦略的ニーズによって微妙に違っていくのが難しかったが面白かった。
4. ジェンダー、ジェンダーニーズ、エンパワーメント、ジェンダーをただの性別の事だと今まで意識していたので、基本概念が分かって良かった。
5. 「5つの政策アプローチ」を通して、「支援」が5種類に分別出来ると知って驚きました。その場面ごとに合った支援をする必要があるという事を学ぶ事が出来ました。

6. 実際のジェンダーニーズ、戦略的ジェンダーニーズを学ぶ事で、本当に必要な支援が何かを知る事が出来ました。
7. 女性のジェンダー役割は三重の役割と呼ばれており、生産・再生産・地域という事を知った。国際協力をする為には、ジェンダーについて知っておく必要があると感じた。
8. “三重の役割”を知る事が出来た。
9. 実際のジェンダーニーズと戦略的ジェンダーニーズの違いを区別する事が出来るように、自分なりに学ぶ事が出来た。
10. 実際のジェンダーニーズだけではいけないと思いました。私が考えていたものは全て実際のだったので、もっと根本的な戦略的ジェンダーニーズについて考えるべきだと思いました。
11. 実際のジェンダーニーズ、戦略的ジェンダーニーズや男女の違いを学ぶ事が出来た。もっと詳しくジェンダーについて学んでみたいと思います。
12. ジェンダー役割で男と女の仕事が別物のように捉えられており、一部の国だけでなく、世界中の多くの国でそのように考えられている事が分かった。
13. ジェンダー役割、世界の貧困国の現状。(ラオス・ベトナム)
14. 援助というものは与えるだけではなく、内から変えるエンパワーメントの力も必要だと学んだ。
15. 固定観念／ジェンダーの意味／エンパワ。何に対してどのような支援をしなくてはいけないのかという事は、今まで全く考えてもなかった事で、支援する時の事を学べて良かった。

#### 作表、作業、フレームワーク(表)、ゲームを使った演習など指導法に言及したもの 13 件

Q20「授業の良かった点、改善して欲しい点」に対する回答から

1. 第8章エンパワーメントアプローチが印象的です。政策アプローチの表等を見ながら見つけていくのが難しかったけれど、為になりました。
2. ビデオを見る事で、より理解を深める事が出来た。表にするのも分かりやすくて良かった。
3. 5つの政策アプローチについて、表などや説明によって理解する事が出来た。最後のまとめの授業で、今までの事を整理出来た。
4. ゲーム等があると、より実践的な感じがしたので、理解がしやすくなり良かったと思います。
5. ビデオを見る事で、話の内容が入ってきやすく、その後の説明もよく理解出来た。また作表によって、流れが分かりやすかった。
6. ビデオや作表は、ただの聞くだけ講義より内容が上手く入って来て良かったと思う。
7. ノートを書いたり表の作成等、自分達で考える事で出来て、積極的に取り組む事が出来ました。ただ、時々どこの話をしているか分からなかったり、声が小さくて困る事もありました。
8. 表を作るのはなかなか難しく、考えてばかりで大変だったけれど、DVDを観てどういう事が分かったりした。

9. ビデオを見る事で、発想しやすくて良かった。ノートをずっと写す事よりも、その方が楽しくて意欲が湧く。だが少し分かりにくく、難しい時もあった。説明をしっかりと聞けば、ある程度理解出来、作業等もあって良かった。
10. ゲームは楽しかった。全体的に内容が理解出来ず、最後まで履修して良かったと思えなかった。
11. ダイヤモンド・ランキングで、自分は何が重要だと思っていたのかがハッキリと分かって、それから内容もしっかり考えられるようになった。
12. ゲームは楽しかった。
13. ビデオやゲームの取り入れは、楽しく学べて良いと思いました。

#### ビデオやスクリーンへの言及はあるが、キーワードや指導法には言及していないご意見ほか 22 件

Q20「授業の良かった点、改善して欲しい点」に対する回答から

1. ビデオを見る事で、内容が分かりやすくなった。
2. ビデオの鑑賞はとても為になりました。
3. パワーポイントを変えるのが速い。教室が寒い。
4. 教室寒かったです。
5. 現在の社会問題等ニュース等もおりませで考えたりして、すごく身近に感じる事が出来て良かったです。もう少し大きな声で話して欲しいです。
6. 映像資料等、実例を挙げて説明した点が良かった。
7. ビデオを見る事が良かったです。
8. ビデオが途切れちゃうの以外は、ビデオとか見ると実際の様子や詳しい事が分かるので良かったです。
9. ビデオを見る事で、文字だけでなく、映像(絵)で理解する事が出来たので、分かりやすかった。音声と映像が合っていない時があったので、それだけなおして欲しい。
10. ビデオを例にして見るのは、とても分かりやすく良かったと思います。
11. ビデオを見る事で、詳しくジェンダー等の具体例が分かったので、内容が分かりやすくなって良かったです。
12. ビデオ教材は動画で実際にその国の現状を知れたので、分かりやすく良かったです。
13. 板書(パワーポイント)が分かりにくい事、指示内容がよく分からない。
14. ビデオは具体的に例が沢山あり、理解しやすかった。
15. ビデオのメッセージ性が強くて良かった。
16. ビデオは良かったと思います。
17. 内容理解がしにくかった、もう少し分かりやすい単語等を使って欲しかった。
18. ビデオの量と回数を増やして欲しい。

19. ビデオをいちいち止めていて、イライラしました。通して見ても、良い内容のものであれば寝る事はないと思います。個人への対応にマイクは必要ないと思います。  
**コメント**→ビデオは観賞用ではなく、用語解説のために何度も細かく確認しました。学生対応は個人への指導助言に見えるかもしれませんが、教室全体や全員のためにも役立つためです。
20. ビデオを使った学習は、ジェンダーの問題へ入りやすくて良かった。アニメは特に誇張されているので分かり易かった。しかし、ビデオの音声が乱れていて見辛い回もあったので、ビデオ設備を改善して欲しい。**コメント**→ 教員の PC データが壊れているようですので来年は授業をやめます。
21. 後期の授業への要望として、ディズニー等皆の知っているアニメや映画でのジェンダーの描写やイメージを映像を使って解説する方法だと、皆興味を持って映像を見てくれるのではないかと思います。
22. ビデオを見た事により、内容が分かった。ジェンダーとは女性・男性に異なった影響を与え、時代により社会的・文化的な要因の変化により、男女に期待される事と日常生活は変える事が出来ると分かった。

#### 上記以外の内容。Q21 学んだことに関する回答から、上記に分類できない自由記述

1. ジェンダーについて理解が少し出来た。
2. 女性がどういった運動をしているかという事。女性の地位。
3. 本当の援助とは何か、金銭面だけではないという事が分かった。
4. ボランティアや国際協力をする場合に、一番どこを支援したら良いかを学びました。
5. ジェンダー、ものすごい沢山やった気がする。やっている事や説明が難しく、理解出来ずに寝てしまう事もあった。
6. 今まで支援といわれると大きなまとまりとしてしか捉えていませんでしたが、この授業を通して、女性を支援するには男性が世話をしている牛を寄付する等では意味がないという、支援という本当の意味を知れた気がします。
7. ベトナムの女性達の事を知った。
8. 発展途上国の人々への援助は、一番何が適しているのか分かった。
9. 内容自体はとても興味深かったです。
10. 貧しい国の少女が、いかに働かされ、学んでいないのかという事。
11. 貧しい国の人々が働かされていて、満足に学校へも通えず勉強が出来ていない事を、改めて実感した。

面倒をおかけしましたが、自由記述をいただきありがとうございました。来年度はビデオ、事例、フレームワーク分析ではなく、海外で実際に活動する「海外ボランティア実践演習」を開講することとします。

本科目は教職課程の「介護等体験の事前事後指導(2015年から名称変更)」です。学生の取り組みと理解、指導の適切さなどに関する質問項目について、5段階評価で平均が4以上の肯定的な回答の項目がQ3～Q13のうち7項目、平均は4.04でした。Q2 毎週の学生取り組み時間数については、特別支援学校での体験時間算入と体験ノート提出が中心となる授業形態の捉え方の違いからばらつきがありましたが、他のQ3～Q13に対する回答からは、みなさんが意欲的、かつ興味を持って取り組まれたと感じます。Q14 進度については全員が「ちょうど良い」、Q15 難易度は69%が「通常の努力で理解できた」、Q16 履修人数は全員が「ちょうど良い」、Q19 満足度は4.13でした。ご理解いただきありがとうございます。

#### Q20「この授業について、良かった点、改善してほしい点」への回答

以下の通り分類して掲載しましたが、回答日の参加者全員から、ノート指導、事前訪問、ロールプレイなど授業の進め方について16件の回答をいただきました。来年度以降の授業でも大切にすべき内容だと、皆様のご意見からも確かめられました。各項冒頭のほか、( )内や、→以下も教員のコメントです。

#### ノート指導 (Q20 良かった点、改善してほしい点) :

本授業では、体験ノートの事前指導を徹底することによって体験を充実させられるように、なにより各自が現場で振り返り自己点検を可能にする支援をしています。また他人に伝える演習として、口頭発表と「体験を終えて」を注意深くまとめることによって、自己分析と他者にプレゼンする確かなちからを身につけていただいています。1/3の方が書いてくださったノート指導について課題を含めすべて掲載します。

1. (体験ノートの)採点返却は自分がどのくらい書けているのか分かって有難いです。
2. 特別支援学校のノートの書き方の話は、話がとぶ事がありよく分からない時がありました。
3. 特別支援学校の体験が遅く、レポートの書き方を知れて書けた人と、体験が早く書き方を知らずに書けた人に差が出てしまうのではないかなと思いました。でも返却採点は助かります。
4. 体験ノートは実際に書いたもののコピーとかが配られると書きやすかったと思います。プログラムの覧でさえ戸惑いました。

コメント→ プログラムは時間割を書いたり日常生活の指導や給食・遊びの指導などと書いたりする欄ですね。画面で例を見て、穴埋めなど書く練習を何回かしました。教科書の時間割や指導項目をお示ししてご理解いただけたと思っていましたので、もう少し丁寧に工夫したいと思います。

5. (Q21 学んだことから) 学んだ事は本当に沢山あった。とても充実した実習になったしノートの書き方も学べて良かった。
6. (Q21 学んだことから) 体験する事に関してだけでなく、自分が体験した事を人に伝えるという書き方も学べた。教わった事を全て活かして書く事は十分に出来なかった点が反省点である。

**ロールプレイ指導 (Q20 良かった点、改善してほしい点) :**

知的障害がある児童生徒の特別支援学校での指導体験や、耳が遠かったり認知症があったりする高齢者との意思疎通や寄り添い方には、知識理解だけでは実践できないことがあります。授業の良かった点としてロールプレイが半数の方々から言及がありましたので、回答のうち課題を含めて抜粋します。

1. 授業でこのような場面の時、どのように言うかなど実際にやってみるといのは、体験に行った時に改めて良さを感じた。実際に先生に例を出され考える事で、すごくリアルな練習も出来たので、体験時とまどわずドンと構えて臨む事が出来た。
2. ロールプレイはもう少し考える時間が欲しい。
3. ロールプレイで実際に行く前の心構えが出来た。少し難題を出されるくらいが現場で生きていくのだと感じる。
4. 授業内で、施設の事前学習としてのお年寄りのロールプレイングをしたが、私の所まで順番が回ってこなかった為、確実に全員が体験する事が出来るようにペアワークをして先生が回ってアドバイスをする形式が良いのではないかと思った。
5. ロールプレイを行う事で、自分が施設（特別支援学校です!）に行った時どのように子どもと接したら良いのか、どういう指導をすべきなのか事前に考える事が出来良いと思う。
6. 授業内での会話の練習も役立ったと思います。
7. 実際に教室内でやってみた事は本番にとっても役立った。
8. (Q21 学んだことから) 1番印象に残っているのは、特別支援学校での実習の事前指導で、実際施設（学校です!）を訪問してみて、活用出来る、役に立つ部分が沢山あった。また、先生が真摯に向き合って下さるので、私達も少しでも多くの事を吸収していこうという気持ちになった。

**事前訪問による個別施設についての指導 (Q20 良かった点、改善してほしい点) :**

本授業では、さまざまな特色ある体験内容が予定されている福祉施設や特別支援学校について、個別の事前訪問を徹底することによって洞察ポイントを明確にし、さらにノートにも書けるように支援をしています。また東京都社会福祉協議会から届く連絡票やホームページだけでわかりにくい諸々の連絡を確認しています。なにより評価「体験評価のものさし」を含めた目標設定について体験先と詳細に打ち合わせることは、大学の指導実態がある授業時間として成立させるために欠かせないものです。授業の良かった点として事前訪問はほぼ全員から言及がありましたので、課題を含めてすべて掲載します。

1. あらかじめ施設を回って道順や特に施設が力を入れているポイントまで教えてくれて有難かった。
2. 先生が事前に施設訪問をして下さるとは思っていなかったので驚きました。各施設で注目すべきポイントを先取り出来るので、心の準備がある程度出来て良いと思いました。
3. 施設の事前訪問はとても有難いと思った。施設の人と実際に話してきてもらい、その施設の雰囲気や事前を知る事で心の準備・意気込みが違うと思った。

4. 先生がここまで力を入れて取り組んで下さったので、こちらも真剣に頑張らなくてはいけないという気持ちにさせられた。事前訪問をして、1つ1つの施設を解説して下さったり、交通機関まで調査して下さって、私達も安心して心の準備しておく事が出来た。

5. 特支の事前連絡(スニーカーで行く・お弁当を作っていく)など、細かい指示がとても有難かったです。老人ホームの施設の事前連絡も一人一人丁寧に指導が入り、どのような所なのか、知らせて頂き良かったです。

6. 事前訪問はとても分かりやすかったので、これからも続けて頂きたいと感じた。パワーポイントの背景の紫色は少し見にくく感じる時があった。

**コメント**→本当は(プロジェクターなど機材の影響なのでしょうか)、きれいなピンク色なのですが!

7. 事前に体験先を訪問してくれるのは分かりやすくて、どこに行くか分からないよりはどのような所かを説明してくれるので理解しやすかったです。

8. 行く施設によって、施設の形態が様々なので、自分の行く施設の事を事前に話してもらえて、実際の実習のイメージがわかりました。

9. 事前訪問での写真を見る事で、しっかりイメージが出来たので有難いです。

10. 事前訪問はとても助かります。ただ、スライドショーはもっとシンプルにしてくれると見やすいです。白地に黒字とか。

**コメント**→夕方なので、目がさめる色使いや画像を使うように心がけてきましたが、逆にお疲れで神経がピリピリしたのかもしれないですね。これからは配慮事項がないか事前に聞くようにします。

11. 事前訪問はあって助かったと思います。

12. 訪問はなるべく続けて欲しいです!!

13. 事前訪問は、施設に安心して行けるので良かったです。これからもやって欲しいと思います。対象の人が来ないと計画が崩れてしまう点は、とても大変だと思いました。

14. 事前訪問などは本当に有難いと思った。ただ他の施設の説明をしている時に、時間ももったいないという気がしたので、お昼休みなどに個別に行って頂くのも良いのかなと思った。

**コメント**→ かつて授業時間外に資格課程課の前身に施設ごと事前説明の日時設定をしていたことがありましたが、来られない方が少なくなく、昼休みや夕方に行く時間外方式はやめてしまった経緯があります。また自分が行かない施設の話についてですが、同じ高齢者施設であっても、施設ごとに体験内容について異なる特色と共通する点とを承知しておいていただくと、比べるわけではないのですが各自の理解が深まると考えています。たとえば寝たきり高齢者や重度の認知症の方が多施設での体験と、通所介護で在宅生活が可能な高齢者や在宅復帰まで視野に入れた自立プログラムが充実している施設での体験とを対比させると、高齢者や施設の理解が全体的にできます。また同じ施設において5日間のなかで日程を分けて両方とも体験する施設があるので、すべての施設を紹介して体験の違いや共通点があることをお伝えしたいと思っています。

## Q21. この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していること

この授業では、特別支援学校と福祉施設に関する「施設理解」と、児童生徒理解や高齢者や障害者など「利用者理解」とを、区別してご案内しています。

## 施設理解 (Q21 学んだ点)

- 特別支援学校の教育の特色、社会福祉施設の特色が分かりました。
- 教職と介護等体験のつながりを学べた。
- 特別支援学校の特色、何を考えながら子どもに接するべきか。
- 特別支援学校の教育の特色について学び、子ども達にどのような指導をすべきなのか、どのように接するべきなのか体験し、学ぶ事が出来た。そして、この学びから自分が教師になったらどうしたいのか、など自分の将来についても考える事が出来た。
- 特支の特色についての理解はもちろん、体験に行く時の社会人としての振る舞いを学びました。

## 利用者理解 (Q21 学んだ点)

- 障害を持たれた子供がこのように笑い、日々生活している、という事を知った。良い意味で価値観が破壊された。
- はじめは1度の体験の為になぜこんなに時間を費やすのだろうと思った事もあったが、実際体験してみても全ての時間が必要だったなと思った。
- 特別支援学校の実習や学校での授業では、ただコミュニケーションを取るだけでなく、そこから何を洞察したのかという事をよく考えるようになり、以前よりも自分がその行動によって何をしたいのかを考えて、生徒と接する事が出来たと思います。
- 体験の前に、どんな所だからどんな人がいるから、と話を聞けるのは一番助かり、事前学習としてとても学べて為になったと思います。
- 福祉を教職目線で考えると、今までの考えとは全く違う考えを持つ事が出来た。特別支援学校に実習しに行く事で、実際に体験する事で更に理解が深まった。介護施設でしっかり体験、学んできたと思う。
- 支援学校や介護施設というと、どうも「可哀想」というイメージが先行しがちでしたが、そこにいる人々は、個々のペースで生き生きと生活しているという事を学びました。その人をどこまでも一個人として尊重し、かといって甘やかさず自立を促す、それぞれの人に則した対応がなされている場であるという事が分かりました。
- 普段体験しない所から教育の関わりを学ぶ事が出来ました。もっと積極的に子ども達と関わったら良かったと思いました。お年寄りの施設はもっと自分から行きたいです。
- 人と関わるには受身ではいけない事。自分から人に歩みよる経験が出来る事。

## 学生コメント全文掲載

みなさんに Q20 と Q21 の自由記述欄にぜひご記入いただくようお願いしましたので、上で可能な限りフィードバックしたつもりですが、以下オリジナルのまま掲載させていただきます。

Q20.この授業について、良かった点、改善してほしい点(全文掲載、順不同)

- 先生がここまで力を入れて取り組んで下さったので、こちらも真剣に頑張らなくてはいけないという気持ちにさせられた。事前訪問をして、1つ1つの施設を解説して下さったり、交通機関まで調査して下さい、私達も安心して心の準備しておく事が出来た。
- 事前に施設についてお話を伺う事で、イメージを持ちやすくなりました。有難うございます。
- 特別支援学校のノートの書き方の話は、話がとぶ事がありよく分からない時がありました。事前に体験先を訪問してくれるのは分かりやすく、どこに行くか分からないよりはどのような所かを説明してくれるので理解しやすかったです。
- 行く施設によって、施設の形態が様々なので、自分の行く施設の事を事前に話してもらえて、実際の実習のイメージがわかりました。
- 事前訪問などは本当に有難いと思った。ただ他の施設の説明をしている時に、時間がもったいないという気がしたので、お昼休みなどに個別に行って頂くのも良いのかなと思った。声がもう少し大きいと聞きやすいと思った。
- 授業でこのような場面の時、どのように言うかなど実際にやってみるというのは、体験に行った時に改めて良さを感じた。実際に先生に例を出され考える事で、すごくリアルな練習も出来たので、体験時とまどわずドンと構えて臨む事が出来た。
- 実際に教室内でやってみた事は本番にとっても役立った。事前訪問はとても分かりやすかったので、これからも続けて頂きたいと感じた。パワーポイントの背景の紫色は少し見にくく感じる時があった。  
→ プロジェクターの問題もあり意図通りに映らない事もあるのですが、ご指摘は承知しました。
- 先生が事前に施設訪問して下さいとは思っていませんでしたので驚きました。各施設で注目すべきポイントを先取り出来るので、心の準備がある程度出来て良いと思いました。でも、時析パワーポイントの情報(文字)が読み辛いのが気になりました。→ご指摘はありがとうございます。
- ロールプレイで実際に行く前の心構えが出来た。少し難題を出されるくらいが現場で生きていくのだと感じる。事前訪問での写真を見る事で、しっかりイメージが出来たので有難いです。
- ロールプレイはもう少し考える時間が欲しい。訪問はなるべく続けて欲しいです！！
- 授業内で、施設の事前学習としてのお年寄りのロールプレイングをしたが、私の所まで順番が回ってこなかった為、確実に全員が体験する事が出来るようにペアワークをして先生が回ってアドバイスをする形式が良いのではないかと思った。・あらかじめ施設を回って道順や、特に施設が力を入れているポイントまで教えてくれて有難かった。

- 施設の事前訪問はとて有難いと思った。施設の人と実際に話してきてもらい、その施設の雰囲気や事前を知る事で心の準備・意気込みが違ふと思った。また、ロールプレイを行う事で、自分が施設に行った時どのように子どもと接したら良いのか、どういう指導をすべきなのか事前に考える事が出来良いと思う。
- 事前訪問はとて助かります。ただ、スライドショーはもっとシンプルにしてくれると見やすいです。白地に黒字とか。あと、体験ノートは実際に書いたもののコピーとかが配られると書きやすかったと思います。プログラムの覧でさえ戸惑いました。
- 事前訪問は、施設に安心して行けるので良かったです。これからもやって欲しいと思います。対象の人が来ないと計画が崩れてしまう点は、とて大変だと思いました。採点返却は自分がどのくらい書いているのか分かって有難いです。
- 事前訪問はあって助かったと思います。特別支援学校の体験が遅く、レポートの書き方を知れて書けた人と、体験が早く書き方を知らずに書けた人に差が出てしまうのではないかなと思います。でも返却採点は助かります。・授業内での会話の練習も役立ったと思います。
- 特支の事前連絡(スニーカーで行く・お弁当を作っていく)など、細かい指示がとて有難かったです。老人ホームの施設の事前連絡も一人一人丁寧に指導が入り、どのような所なのか、知らせて頂き良かったです。

Q21.この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していること(全文掲載、順不同)

- 1番印象に残っているのは、特別支援学校での実習の事前指導で、実際施設を訪問してみて、活用出来る、役に立つ部分が沢山あった。また、先生が真摯に向き合ってくれたので、私達も少しでも多くの事を吸収していこうという気持ちになった。
- 実習先に伺った時、障害を持たれた子供がこのように笑い、日々生活している、という事を知った。良い意味で価値観が破壊された。
- 特別支援学校の教育の特色、社会福祉施設の特色が分かりました。
- 学んだ事は本当に沢山あった。とて充実した実習になったし、ノートの書き方も学べて良かった。
- 特別支援学校の実習や学校での授業では、ただコミュニケーションを取るだけでなく、そこから何を洞察したのかという事をよく考えるようになり、以前よりも自分がその行動によって何をしたいのかを考えて、生徒と接する事が出来たと思います。
- 体験する事に関してだけでなく、自分が体験した事を人に伝えるという書き方も学べた。教わった事を全て活かして書く事は十分に出来なかった点が反省点である。
- はじめは1度の体験の為になぜこんなに時間を費やすのだろうと思った事もあったが、実際体験してみて全ての時間が必要だったなと思った。

- 支援学校や介護施設という、どうも「可哀想」というイメージが先行しがちでしたが、そこにいる人々は、個々のペースで生き生きと生活しているという事を学びました。その人をどこまでも一人の人として尊重し、かといって甘やかさず自立を促す、それぞれの人に則した対応がなされている場であるという事が分かりました。
- 福祉を教職目線で考えると、今までの考えとは全く違う考えを持つ事が出来た。特別支援学校に実習しに行く事で、実際に体験する事で更に理解が深まった。介護施設でしっかり体験、学んできたいと思う。
- 教職と介護体験のつながりを学べた。
- 特別支援学校の特色、何を考えながら子どもに接するべきか。
- 特別支援学校の教育の特色について学び、子ども達にどのような指導をすべきなのか、どのように接するべきなのか体験し、学ぶ事が出来た。そして、この学びから自分が教師になったらどうしたいのか、など自分の将来についても考える事が出来た。
- 普段体験しない所から教育の関わりを学ぶ事が出来ました。もっと積極的に子ども達と関われば良かったと思いました。お年寄りの施設はもっと自分から行きたいです。
- 体験の前に、どんな所だからどんな人がいるから、と話を聞けるのは一番助かり、事前学習としてとても学べて為になったと思います。
- 人と関わるには受身ではいけない事。自分から人に歩みよる経験が出来る事。
- 特支の特色についての理解はもちろん、体験に行く時の社会人としての振る舞いを学びました。

面倒をおかけしましたが、自由記述にご協力いただきありがとうございました。

## 介護福祉論

川中信 2014/火曜日 V時限/通年

本科目は教職課程の「介護等体験の事前事後指導(2015年から名称変更)」です。火曜日IV時限の同名科目と同じ内容です。学生の取り組みと理解、指導の適切さなどに関する質問項目について、Q3～Q13の11項目すべてで5段階評価の平均が4以上の肯定的な回答をいただき、全体の平均は4.16でした。Q2毎週の学生取り組み時間数については、特別支援学校での体験時間算入と体験ノート提出が中心となる授業形態の捉え方の違いからばらつきがありました。Q3「この授業に主体的に取り組むことができたと思いますか」への回答は、「強くそう思う」が25%、「どちらかというと思う」が75%でした。Q4「この授業の内容を十分に習得できたと思いますか」については、「どちらかと言えばそう思う」58%、「強くそう思う」が33%でした。これらからは、みなさんが意欲的、かつ興味を持って取り組まれたと感じます。Q14進捗については、「どちらかと言えば遅い」が1人いましたが、ほぼ全員が「ちょうど良い」。Q15難易度は、75%が「通常の努力で理解できた」でしたが、「多大な努力を要した」方も3人いました。Q16履修人数は、6割が「ちょうど良い」でしたが、「どちらかと言えば少ない」や「少なすぎる」も2人ずついました。Q19満足度は4.25でした。ご理解いただきありがとうございます。

## Q20.良かった点、改善してほしい点に関する回答

以下の通り分類して掲載しました。回答日の参加者全員から、ノート指導、事前訪問、ロールプレイなど授業の進め方について12件の詳しい回答をいただきました。一部Q21「学んだこと、反省していること」への回答を含みます。来年度以降の授業でも大切にすべき内容だという、学生の皆さんのご意見を確かめられましたので大変に参考になります。各項目冒頭のほか、→以下も教員のコメントです。

## ノート指導 (Q20 良かった点、改善してほしい点) :

本授業では、体験ノートの事前指導を徹底することによって体験を充実させられるように、なにより各自が現場で振り返り自己点検ができるように支援をしています。また他人に伝える演習として、口頭発表と「体験を終えて」を注意深くまとめることによって、自己分析と他者にプレゼンするちからを身につけていただいています。ほぼ全員がノート指導に言及してくださいましたので、課題を含めすべて掲載します。

1. 特別支援学校のノート指導に関して、私は厳しく指導して下さって良かったと思います。また、実習先の担当の先生から「ノートよく書けているね。」と褒められました。
2. 同じ内容を何度も何度も繰り返し説明されたので、何が大切なのが分かりやすかった。ノート指導においては、指導の内容が分かりにくく、実際書く時に悩んだし、大変だった。

コメント→さらに分かりやすい指導を工夫していきたいと思います。

3. ノートを返す事によって、私達も自分自身の書き方を改める事が出来るので良い事だと思う。
4. 〈特別支援学校〉ノートの書き方が難しかったが、学ぶべき点などがしっかり分かった所が良かった。〈ノート〉どこをどう直したら良いかなどが詳しく分かり、良いと思います。
5. ノートの書き方の指導をしてもらえたので書きやすかった。ノートの添削があるので、どこを具体的に直せば良いか確認出来、学んだ事をきれいに整理出来るので良いと思った。
6. ノートの書き方について何故あんなにもこだわるのか、疑問に思った事がある。ノートを添削してもらった必要性は十分にあると思う。  
コメント→冒頭にも書きましたが、他の方のノート指導に関するご理解も参考になさってください。
7. ノート支援、今後のノートの書き方の学び、経験になるが正直書き直すのは手間がかかり大変であると思う。  
コメント→書き直しの手間に関しては、後期の時間中にも取り組んでいただく工夫をしています。
8. 〈ノート指導〉途中部分(出来事のまとめ)～の学習という言葉の選択が難しく、間違えてしまう事も多々あったが、全体のまとめのコツはまとまりやすく、分かりやすく良かったです。〈ノート返却〉ノートの改善部分が分かりやすかったです。
9. ノート指導がある事で、体験中の着眼点もよりはっきりするから良いと思う。

ノート指導に関する回答つづき(Q21 学んだこと、反省していること) :

10. ノート返却に関してですが、先生から指導は受けたものの、まだまだ至らない点があるので、添削よろしくお願いします。
11. 体験の時期が早かった為に、ノート指導の授業が間に合わず不安が残りました。  
コメント→特別支援学校の体験時期については、5月連休明けの時期に体験を申し込まれた方もいますが、少し後の日程に申し込まれた方もいます。体験時期が早い方には日誌だけでも書けるようにして、まとめは後期に書き直す機会を設けていると、もっと明確にご案内したいと思います。
12. ノート指導がよく理解出来なかったもので、特別支援学校で書いた時に、悩みすぎて時間がかかりすぎてしまった。  
コメント→特別支援学校にも「ノートが単なる記録ではなく、各自が毎日を振り返り学ぶ」方法であるとお伝えしていますが、安心して取り組んでいただけるようにさらに連携を密にしていきます。

**ロールプレイ指導** (Q20 良かった点、改善してほしい点および Q21 学んだこと、反省していることから) :

知的障害がある児童生徒の特別支援学校での指導体験や、耳が遠かったり認知症があったりする高齢者との意思疎通や寄り添い方は、知識理解だけでは実践できません。授業の良かった点として、接し方や質問の仕方も含め、半数以上から言及があったロールプレイについて課題とともに掲載します。

1. 「特別支援学校」支援学校に行く前に不安だった点が子どもと触れ合う事だったので、事例を含めた具体的な授業で良かったと思う。
2. 先生から教わった事(子どもがそのような態度をとったらどう対応したら良いか)を実習先で生かす事が出来ました。
3. 特別支援学校に通っている児童と接点が今までなかったなので、実際行く前にシミュレーション的な事が出来たのでイメージも出来て良かったです。
4. 先生の質問の意味が分からない事が多い。  
コメント→知的障害がある子どもたちや高齢者の実態を想像しにくいので、ロールプレイの取り組み課題や指示は難しいという意味のご指摘でしょうね。たとえば特別支援学校の給食指導や遊びの指導などの場面をわかりやすく設定する工夫がさらに必要なのだろうと考えました。
5. 特別支援学校での、子どもとの関わり方・声かけ方法・学校理解などを学び、社会福祉施設への施設理解・利用者への声かけ方法を学んだ。また、分からない事があった時には、学校では教師に、施設では職員に対してお話を積極的に聞くべきである事も重要な事の一つとして学ばせて頂いた。
6. 職員の方や教員の方に自ら質問し学ぶという事の大切さが分かった。そうする事でより障害者や施設の事を理解出来るという事も学んだ。

**事前訪問による個別施設についての指導** (Q20 良かった点、改善してほしい点) :

本科目では、さまざまな特色ある体験内容が予定されている福祉施設について、個別の事前訪問を徹底することによって洞察ポイントを明確にし、さらにノートにも書けるように支援をしています。また東京都社会福祉協議会から届く連絡票やホームページだけでわかりにくい諸々の連絡を確認しています。なにより評価基準「体験評価のものさし」を含めた目標設定について体験先と詳細に打ち合わせることは、大学の指導実態がある授業時間として成立させるために欠かせないものです。授業の良かった点として事前訪問がほぼ全員から言及がありましたので、課題を含めてすべて掲載します。

1. 施設の事前訪問の話をして下さったので、少し不安がなくなって良かった。
2. 施設の事前について、施設を把握しやすいので必要である。

3. 「社会福祉施設」各自の施設を、事前に先生が下見に行ってお下り、写真を提示して頂いて、当日は安心して施設に行けると思った。
4. 事前訪問に関しては私の場合、授業が終わって短い時間で事前訪問の報告を受けましたが、施設の様子だけではなく、施設までの交通手段まで教えて下さって本当に助かりました。方向オンチの私でも迷わず行けました。
5. 〈施設〉自分の施設の詳しい事だけでなく、他の施設も学んだ事で学習の幅が広がって良かった。
6. 〈施設事前〉行き方にも写真があり、施設のポイントも分かりやすく良かったです。
7. 施設の事前訪問…1つ1つの施設を丁寧に説明して下さいのは有難かったのですが、次の授業でどこかの施設の説明をするかの予告があった方が、自分の施設の時に休んでしまう事もなくなりスムーズだと思います。スライドのレジュメを配って頂けると有難いです。

コメント→ 予告は可能で今もスクリーンには見えていたのですが、連絡なく欠席される方がいて、今年も予定通りできませんでした。前期の最後つまり体験直前に設定した5回程度の直前指導ぐらいいは休まないようにご案内しています。一方で訪問した施設に関するスライド作成がすぐ次週の授業に間に合わないこともあります。個別施設を実際に訪問する期間は3週間にわたり、毎週幾つもの施設と各30分から2時間もの打ち合わせをしてから、15分から1時間程度のスライドにまとめていきます。そのとき、ある施設を土曜日に訪問して火曜日に授業であっても、その施設の特色が際立っていると、体験内容や目的が全く異なる場合は準備に手間取るからです。

コメント→ 反対に同じような施設で、たとえば特別養護老人ホームで認知症対応が体験内容の中心である似たような介護度が高い施設同士や、通所施設で比較のお話がしやすい会話中心の体験になる介護度の低い高齢者施設同士は、個別施設を紹介するというよりは体験内容が共通していますので、ロールプレイ等のなかで事前指導がおこなわれる比重が高くなっています。従いましてご自分の施設の説明のみで直前指導が完結しない面があることもご理解いただければ幸いです。

8. 事前指導で、道順を深く説明しすぎて、他の人の説明の回の際は講義に出ている必要性が感じられなかった。

コメント→ かつて授業時間外に資格課程課の前身に施設ごと事前説明の日時設定をしていたことがありましたが、来られない方が少なくなく、昼休みや夕方に行く時間外方式はやめてしまった経緯があります。また自分が行かない施設の話についてですが、同じ高齢者施設であっても、施設ごとに体験内容について異なる特色と共通する点とを承知しておいていただくと、比べるわけではないのですが各自の理解が深まると考えています。たとえば寝たきり高齢者や重度の認知症の方が多き施設での体験と、通所介護で在宅生活が可能な高齢者や在宅復帰まで視野に入れた自立プログラムが充実している施設での体験とを対比させると、高齢者や施設の理解が全

体的にできます。また同じ施設において5日間のなかで日程を分けて両方とも体験する施設があるので、すべての施設を紹介して体験の違いや共通点があることをお伝えしたいと思っています。

9. 先生が事前に訪問して下さると情報が増えて体験が良いものになると思う。が、道順はして下さらなくて良いと思う。(個人でgoogle mapなどで調べられる。)

**コメント**→道順についてはまだ簡略にできるかと思しますので今後も工夫していきます。ただそれより体験の学習目的や内容説明が事前指導の中心であることはご理解いただいている通りです。

**コメント**→ところで、送られてくる連絡票やホームページの地図には、遠方からの自家用車によるアクセスを記載しているだけの地図もありますし、精粗が非常にあるのが実態です。そしてスマホですが、皆さんが大きい画面で拡大地図が見やすいものをお持ちか、ガラケーしか持たない学生がいなかまで確認できません。この科目と体験は学外授業ですから、全員が少しの不安もないように学外授業先の教室までスムーズなご案内をするのも当然の役割だと思っています。

**コメント**→順路について詳しくならざるを得なくなった事例をいくつか列挙します。**1.経路選択。**最寄り駅から徒歩可能に見える施設提供の地図があるにも関わらず、実際にはその徒歩経路では迷う学生がいるのでターミナル駅からバスで通うように施設から指示があった例が今年も2件ありました。**2.バス系統とバス停。**経路が異なり施設にはいかない路線も含めてバスセンターから似たような路線が複数ある場合や、同じ名称のバス停なのにバス系統によって現地の交差点にはバス停が見えないほど離れた所に複数あり、降車したばかりバス停が地図上でのバス停か迷う例もありました。**3.方角を見失う。**私は施設や資格課程科から提供された地図やグーグルマップなど複数の拡大コピーや方位磁石まで持参して現地踏査しますが、それでも駅やバス停を降りてから方向を見失うことがあります。**4.あるはずの目印がわからない。**道を曲がる目印になるはずのコンビニ等が閉店したのか目印がない。地図では表現しきれない路地の見通しの悪さや高低差があるため、路地の分岐点が目印としてわかりづらかったため、間違えてしまい引き返すことが今年もありました。**5.施設からの要望。**以前は遅刻の多さもあって体験前に挨拶を兼ねて事前訪問を推奨される施設も少なくありませんでした。いまは教員が事前訪問することで大幅に簡略化されたと思います。本科目はオリエンテーリングではありませんし、学外授業先の「教室」までたどり着くのに万が一にも迷って遅刻するがないように、説明を簡略化する方が実は難しいのですが、これからも緊張感を持って工夫してご案内していきたいと思っています。

**Q21. この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることに関する回答**

この授業では、特別支援学校と福祉施設に関する「施設理解」と、児童生徒理解や高齢者や障害者など「利用者理解」とを、区別してご案内しています。

**施設理解 (Q21 学んだ点)**

1. 私は事前学習の講義を受けた事で、障害者やお年寄りの方がどのような状況にあって、どんなサポートがあるのかという事を知る事が出来ました。この事を知らずにただ体験に行くという事であれば学び取った事がとても少なかったように思います。ただ、板書(パワーポイント)を写す際に、もう少し時間があればと思う時があります。
2. 特別支援学校の特色や施設の設備等を学ぶ事が出来た。
3. 施設の説明も分かりやすかった。
4. 特別支援学校の事前について必要であると思う。分かりやすくて為になった。
5. 特別支援学校の事前…丁寧で良かったです。

**利用者理解 (Q21 学んだ点)**

1. 障害を持った人々に対する考え方などが変わりました。
2. 特別支援学校では、事前に注意点・注目すべき点・心がける事などを教わっていたので、混乱する事なく体験を終える事が出来ました。実際に特別支援学校に行ってみると、障害を持っている子達は、普通の学校と同じような生活を送っていました。気にかける部分や手助けが必要な事は障害を持つ生徒にとっては仕方のない事ですが、皆笑顔で一生懸命頑張っていました。
3. 私は障害を持つ人(特別支援学校の児童)との交流を通して、彼らも自立をしようと努力しているのだと学びました。恥ずかしい話ですが、障害を持った人を見ると怖いという印象を持っていました。しかし、事前学習で学び、体験に行く事でそのような印象ではなく彼らと平等に接する事が出来、努力も見ることが出来たのが私の学びだと思います。
4. 体験の前に何を知らなければならないのか、注目すれば良いのかや、体験後はその学びを自分の経験あるいは教職を学ぶ上でどのように活用すると良いのかについて学ぶ事が出来た。

## 学生コメント全文掲載

みなさんに Q20 と Q21 の自由記述欄にぜひご記入いただくようお願いしましたので、上で可能な限りフィードバックしたつもりですが、以下オリジナルのまま掲載させていただきます。

Q20.この授業について、良かった点、改善してほしい点(全文掲載、順不同)

1. 私は事前学習の講義を受けた事で、障害者やお年寄りの方がどのような状況にあって、どんなサポートがあるのかという事を知る事が出来ました。この事を知らずにただ体験に行くという事であれば学び取った事がとても少なかったように思います。ただ、板書(パワーポイント)を写す際に、もう少し時間があればと思う時があります。
2. 「特別支援学校」支援学校に行く前に不安だった点が子どもと触れ合う事だったので、事例を含めた具体的な授業で良かったと思う。「社会福祉施設」各自の施設を、事前に先生が下見に行ってお下り、写真を提示して頂いて、当日は安心して施設に行けると思った。「ノート指導」ノートを返す事によって、私達も自分自身の書き方を改める事が出来るので良い事だと思う。
3. 特別支援学校のノート指導に関して、私は厳しく指導して下さいて良かったと思います。先生から教わった事(子どもがそのような態度をとったらどう対応したら良いか)を実習先で生かす事が出来ました。また、実習先の担当の先生から「ノートよく書けているね。」と褒められました。事前訪問に関しては私の場合、授業が終わって短い時間で事前訪問の報告を受けましたが、施設の様子だけではなく、施設までの交通手段まで教えて下さって本当に助かりました。方向オンチの私でも迷わず行けました。
4. 特別支援学校では、事前に注意点・注目すべき点・心がける事などを教わっていたので、混乱する事なく体験を終える事が出来ました。実際に特別支援学校に行ってみると、障害を持っている子供達は、普通の学校と同じような生活を送っていました。気にかける部分や手助けが必要な事は障害を持つ生徒にとっては仕方のない事ですが、皆笑顔で一生懸命頑張っていました。
5. 〈特別支援学校〉ノートの書き方が難しかったが、学ぶべき点などがしっかり分かった所が良かった。〈施設〉自分の施設の詳しい事だけでなく、他の施設も学んだ事で学習の幅が広がって良かった。〈ノート〉どこをどう直したら良いかなどが詳しく分かり、良いと思います。
6. ノートの書き方について何故あんなにもこだわるのか、疑問に思った事がある。・施設の説明も分かりやすかった。・ノートを添削してもらう必要性は十分にあると思う。
7. 〈特支事前〉特別支援学校に通っている児童と接点が今までなかったので、実際行く前にシュミレーション的な事が出来たのでイメージも出来て良かったです。〈ノート指導〉途中部分(出来事のとめ)～の学習という言葉の選択が難しく、間違えてしまう事も多々あったが、全体のまとめのコツはまとまりやすく、分かりやすくて良かったです。〈施設事前〉行き方にも写真があり、施設のポイントも分かりやすくて良かったです。〈ノート返却〉ノートの改善部分が分かりやすかったです。

8. 特別支援学校の事前について必要であると思う。分かりやすくして為になった。2. 施設の事前について、施設を把握しやすいので必要である。3. ノート支援、今後のノートの書き方の学び、経験になるが正直書き直すのは手間がかかり大変であると思う。一人一人の施設の内容は異なっているので、様々な知識を吸収出来、勉強になった。
9. 特別支援学校の事前はどこを見て聞いて学べば良いのか分かって良かった。施設の事前訪問は事前訪問の話をして下さったので、少し不安がなくなって良かった。ノートの書き方の指導をしてもらったので書きやすかった。ノートの添削があるので、どこを具体的に直せば良いか確認出来、学んだ事をきれいに整理出来るので良いと思った。
10. 特別支援学校の事前…丁寧に良かったです。施設の事前訪問…1つ1つの施設を丁寧に説明して下さいしたのは有難かったです。次の授業でどこの施設の説明をするかの予告があった方が、自分の施設の時に休んでしまう事もなくなりスムーズだと思います。スライドのレジュメを配って頂けると有難いです。
11. 同じ内容を何度も何度も繰り返し説明されたので、何が大切なのが分かりやすかった。ノート指導においては、指導の内容が分かりにくく、実際書く時に悩んだし、大変だった。先生の質問の意味が分からない事が多い。事前指導で、道順を深く説明しすぎて、他の人の説明の回の際は講義に出ている必要性が感じられなかった。
12. 先生が事前に訪問して下さいると情報が増えて体験が良いものになると思う。が、道順はして下さいなくて良いと思う。(個人でgoogle mapなどで調べられる。)・ノート指導がある事で、体験中の着眠点もよりはっきりするから良いと思う。教職と介護体験とのつながりについて知識・歴史的な事も知りたい。

Q21.この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していること(全文掲載、順不同)

1. 私は障害を持つ人(特別支援学校の児童)との交流を通して、彼らも自立をしようと努力しているのだと学びました。恥ずかしい話ですが、障害を持った人を見ると怖いという印象を持っていました。しかし、事前学習で学び、体験に行く事でそのような印象ではなく彼らと平等に接する事が出来、努力も見ることが出来たのが私の学びだと思います。
2. 特別支援学校での、子どもとの関わり方・声かけ方法・学校理解などを学び、社会福祉施設への施設理解・利用者への声かけ方法を学んだ。また、分からない事があった時には、学校では教師に、施設では職員に対してお話を積極的に聞くべきである事も重要な事の一つとして学ばせて頂いた。
3. ノート返却に関してですが、先生から指導は受けたものの、まだまだ至らない点があるので、添削よろしくお願いします。
4. 障害を持った人々に対する考え方などが変わりました。

5. 欠席が多くて、重要な情報を聞きそびれてしまったりした事はとても反省してます。看護をする側の立場として、意識しなければならない事が沢山あり、一つ一つがとても大きな意味を持っている事を学びました。
6. 自分が行く施設だけでなく、他の施設の事も分かり、高齢者の方の暮らしや接し方について学んだ。また、特別支援学校については子どもとの接し方や障害の種類などについて学んだ。
7. 特別支援学校の特色や施設の設備等を学ぶ事が出来た。
8. 職員の方や教員の方に自ら質問し学ぶという事の大切さが分かった。そうする事でより障害者や施設の事を理解出来るという事も学んだ。
9. 体験の時期が早かった為に、ノート指導の授業が間に合わず不安が残りました。
10. 机上で学ぶ事と、実際に現場で学ぶ事は大きく違った。ノート指導がよく理解出来なかったので、特別支援学校で書いた時に、悩みすぎて時間がかかりすぎてしまった。
11. 体験の前に何を知るべきなのか、注目すれば良いのかや、体験後はその学びを自分の経験あるいは教職を学ぶ上でどのように活用すると良いのかについて学ぶ事が出来た。

面倒をおかけしましたが、自由記述にご協力いただきありがとうございました。

## ボランティア・キャリア体験

川中信 2014/月曜か木曜に登録/通年

本科目は共通科目の科目(2014 年から名称変更)です。少人数分散の学外授業先から事務室にわざわざアンケート回答に来ていただいた15人のなかでは、Q19満足度は「強くそう思う」10人、「どちらかと言えばそう思う」4人、無回答1人でした。Q13「この授業の内容に興味を持つことができましたか」への回答は「強くそう思う」14人、「どちらかと言えばそう思う」1人でした。ご理解いただきありがとうございます。このように、みなさんが意欲的、かつ興味を持って取り組まれたと感じます。

## 自由記述

教員からのコメントは各項目冒頭のほか、個別フィードバックは「コメント→」から始まる文です。

## ANA エアラインスクール+ANA 羽田空港実務体験

前期アンケート時点では、「おもてなしの心」を身の回りでの実践することと、社会人基礎力を実践して学ぶ主体的な学修とがエアラインスクール体験の中心でした。話を聞くだけでは身につかない、毎週地道な自分の生活の場に帰っての主体的な取り組みこそが、みなさんの成長につながったと感じています。その記録がアンケートに出てくるスクールで毎週発表する Take Off Sheet であり、ほとんどの方が毎週に振り返りと取り組み課題を相談する時間を教員と予約しました。その基礎を活かして空港で実践するのが後期で、夏休みから12月にかけてANA 羽田空港実務体験が実施されますが、それはアンケート以後の授業内容です。毎回5時間以上、みなさま本当に頑張りました。お疲れ様でした。引き続きより良いプログラム開発を不断に行い、産学連携しての「教育連携」を推進してまいりたいと思います。

- ・ スクールに行った後の事後指導があった事で、より自分自身の為になり、気づく事が多かったので、是非継続して頂けると良いと思う。又、最後に自己分析やスクールで学んだ事をレポートにする事で、自分自身の事を知る事が出来たり、振り返る事が出来たので良かった。
- ・ ANAエアラインスクール、毎週スクールに見学に来て下さり、それだけでなく毎週課題添削の為に、貴重なお時間を割いて頂きました。恐らく、川中先生がここまでして下さらなかつたら、私は乗り越えられなかったと思っています。川中先生のご負担にならない程度に、今後もこの課題添削を継続して頂けたら幸いです。
- ・ エアラインスクールのTake off sheet 記述の際に難しいと感じる事は多かったが、その結果、自分を見つめ直す事が出来たので良かった。川中先生の毎回の指導は本当に助けになった。
- ・ スクールを通して、皆より劣っていると感じた事はあったが、それを課題にして努力する事が出来た。

コメント→劣っているとのおいこみから自尊感情を高め、成長を実感していくお姿を忘れません。

- ・ とても良い経験になった。後輩の為にも続けて欲しいと思う。
- ・ ANAエアラインスクール+空港実務体験の方法について。Take off sheetに関して1週間で自分の気づきを発見し、それについてまとめた物を川中先生に1週間に1回添削して頂ける事はとても良かった。
- ・ 事後指導に來れなかった時があるのを深く反省している。ANAの教育理念を理解出来た。
- ・ 私はエアラインスクールで、自分の弱みを受け入れ、強みに改善していく事の楽しさを知りました。スクールでは、正直学生の我々にとっては難しい内容もございました。又、これまで一切向き合っ  
てこなかった立ち居振る舞いや第一印象の事についても学ぶ為、自分の欠点が沢山見えて辛い事もございました。しかし、それらを乗り越えた今、スクールを受講して良かったと心から思っています。後輩達にも、是非受講して頂き、成長する事の楽しさを知って頂きたいです。
- ・ 自分の力で考えて自己を見つめ直す事を学んだ。反省点としては、もっともっと積極的に川中先生を頼り、エアラインスクールや日常生活での取り組みを行う事も出来たと思う。以前よりも物事に積極的になったが、「より」という事。
- ・ 自分自身の弱みや強みを気づく事が出来て、改善していく必要があると思えた。3か月間は、自分自身との戦いで辛い事もあったが、3か月間が終わった後、少しでも成長出来たと思える事があって、とても良い経験になった。
- ・ 内容について。1週間のうちに様々な気づきを発見する事は難しい時もあった。川中先生に体験先まで見いらしてくれ、又、その場でご指摘頂けた事は勉強になったので、後輩の為にも継続して欲しい。

## 児童福祉施設 2 施設

- ・ 事前に配布された予定表に記載されていない日にボランティアが入った際の連絡が遅かった。授業の説明が全体的に足りなかった。授業時間が説明より長く又、体験先から自宅までが遠い為、大変だった。

コメント→ 1. 日程も時間数もすべて年間計画に基づいており、しかも他の体験先より少なく設定されています。大学から施設まで30分かかりますが、施設での体験時間は図書館閉館時間や資格課程の一部授業よりも早く終わってしまうのですよ。2. 行事やその準備のためにもお相手の都合やご案内にあわせて、ボランティアであってもチームワークができ柔軟に対応する力も身につけましょう。3. 連絡が遅いことがあったそうですが、受け身の連絡待ちではなく学生の方から連絡をとることをお願いしてあり、いつまでに何を確認するのかまで一覧リストをお渡ししてあります。4. この授業は子どもとの関わり以上に社会人・現場の方との関わり方を評価していますが、毎回の日誌を提出して報告して受け入れ先のお話をきちんと受け止めることが難しい等の現実認識力のずれがあるなど、課題のある学生はご遠慮いただく場合があります。

- ・ ボランティアの集いでは、他のボラさんのお話を聞く事が出来たので、有意義だった。又、〇〇祭りに参加した事で、〇〇(施設名を伏せています)の事を理解する事が出来たように思います。
- ・ 先生側からの指示が「遊んでいけばいい」といった事だった為、子供とは楽しく遊ぶ事が出来たが、園や先生の手助けになっているという実感はない。けれど、その分自分で考える事が出来た。又、子供の遊びに触れる為、子供の好きな事、物を知る事が出来たという点で良かった。

### フランス留学応援パティシエ修行

- ・ パティシエ体験は、大学でやるのは珍しい事で、きっとこれからもパティシエ志望で白百合に来る人は多いと思うので、続けた方が良いと思います。
- ・ レポートの提出が次の日の昼までというのが少し負担だった。ケーキ屋さんで色々な仕事を見たり体験出来たのは、良い経験になった。しかし、1回にひとつの事しか体験出来ない日が何度もあるのでは、体験に行っている意味が分からなかった。
- ・ ケーキ屋さんは大変という事。自分の将来について考え直せた。
- ・ 春夏の期間であった為、最後の方は同じ作業しかなかった。同じ作業をずっとやるのもパティシエの仕事だけれど、新しい事でなくても違う作業もしてみたいと思いました。

コメント→この授業は料理教室ではなく、お店の作業レベルを授業の「体験評価のものさし」で評価しているわけでもなく、作業を通して社会人の方とどんな会話が出来たか「関わりレベル」を重視しています。職人や店員の皆さんが忙しいのは当たり前ですから、その一瞬の機会を積極的に自分から作っているかを振り返ってみましょう。小学校の体験でしたら、休み時間と授業前の挨拶の間の一瞬に担任と報連相がとれるようになったかでご自分の成長が変わってしまいます。そのような関わるための話題としては「パティシエとは、お店の経営とは、フランスでの修行とは、働くとは、スペシャリテや新作のケーキとは」などさまざまなことを伺い、さらには考えたことも合わせて書く「洞察レベル」を大切にしましょう。なによりも舌を鍛えるために、お店の商品を理解するためにも安い焼き菓子でも毎週一つでも自腹(ANAでも海外留学でも自分への投資はこれから大切)で買って食べてみましょう。そうした感想が毎週あるかだけでも体験評価の自己点検ができます。

### 市立小学校 3校

- ・ 小学校教諭を目指す人は、是非、1日体験を行った方が良いと思う。児童との関わりも多くなり、様々な場面(ケンカ、給食、集会等)を経験する事が出来、先生方とも話す機会が増え、より一層、教師としての仕事を知る事が出来るからである。

コメント→ご指摘の通りで、同感です。1日中、朝8時から、午後までまたは給食指導まで5-6時間も毎週取り組まれた方々に敬意を表します。微力ながら、少人数でも「本気で目指す方々」をこれからも応援したいと思います。

- ・ 自宅からの距離がとても遠く、通常授業の日は何とかなるのですが、運動会の日朝が早くとても大変でした。

コメント→毎週朝 8 時から半日お疲れ様でした。本番まで練習を応援してきた子どもたちのいつもの違う雰囲気や、行事に参加してみてどんなことを感じましたか。

- ・ プールの授業では先生方に一緒に中に入って指導はしないのですか？と質問を受け、私自身も中に入って児童の補助員出来たら、より良いと思いました。前期の中で児童の名前や顔を覚え、積極的にコミュニケーションを取れるようになりました。後期は先生とも積極的に関わって行きたいと思います。

コメント→プール指導は安全管理上、学生への指示がときに異なることがあります。

- ・ 難しかった点は自分の思い描く先生とのギャップ。優しく、親切な先生もいるが、中には挨拶をしても返してくれなかったり、子供達と接する時も眉にしわを寄せて、あまりニコニコしたり、褒めたりしない先生もいたので少し驚いた。

コメント→ぜひ教育委員会の求める教師像と照らして、ご自分の教師像を鍛えていってください。

- ・ 小学校での体験は、全て良い経験となった。児童がいない時間帯の経験(朝と放課後の教師の仕事内容)が出来、とても良い経験だった。
- ・ コメント→そうです、裏方にみえる仕事にこそ「情熱と意欲」が込められているのだと思います。
- ・ 自分の夢の為にとても良い経験になりました。小学生と関わる事で、今の教育に求められている事が、分かりました。
- ・ 色々な先生がいて、それに沿って指導するのが大変でした。臨機応変がすぐに出来なかったのが悔しく、反省しています。

#### 体験先別に分類できなかった感想

- ・ 自分なりに試行錯誤して出来てその結果が目に見えて分かったのでとてもやりがいがありました。
- ・ 色々な事に対して多くの気づきがうまれた事が、自分にとってとてもプラスになり良かったと思う。

面倒をおかけしましたが、自由記述にご協力いただきありがとうございました。